

4

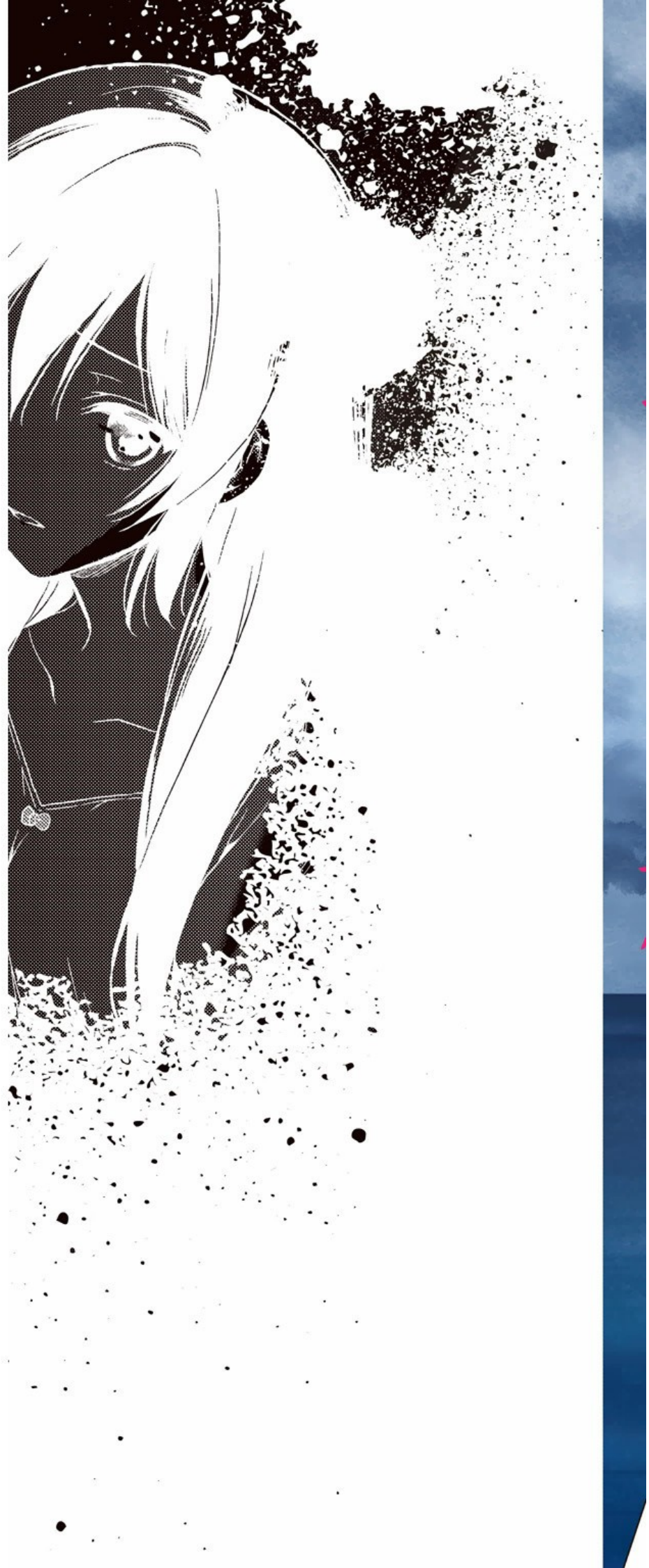
原 っ も い

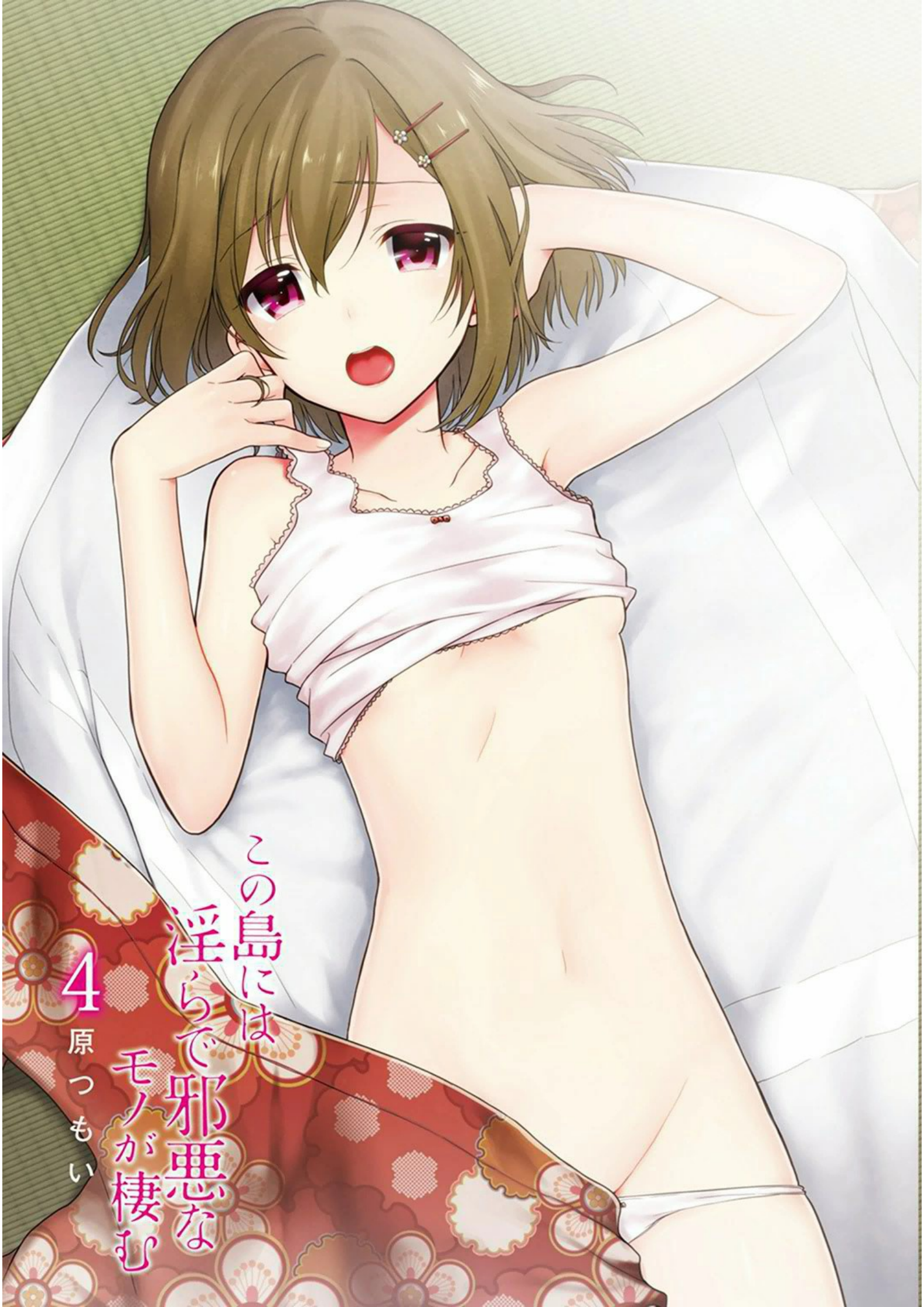
モノが棲む

邪悪な

淫らで

この島には





この島には  
淫らで邪悪な  
モノが棲む

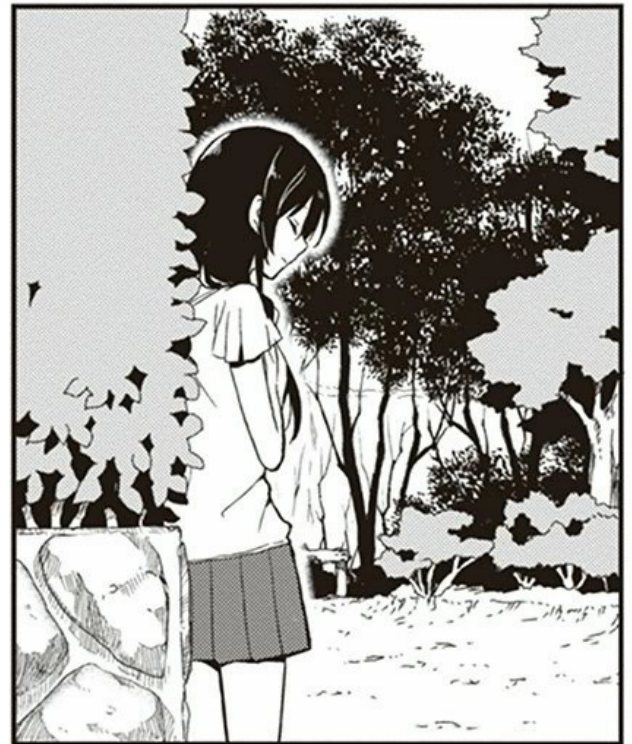
4 原つもい



一三三	〇九九	〇七七	〇五五	〇三三	〇〇三
第十九話	第十八話	第十七話	第十六話	第十五話	第十四話

# 第十四話





天・女・が  
死・ん・だ・？

なんで？

ムンムン...

何なにが  
あつたの？

私わたし  
は

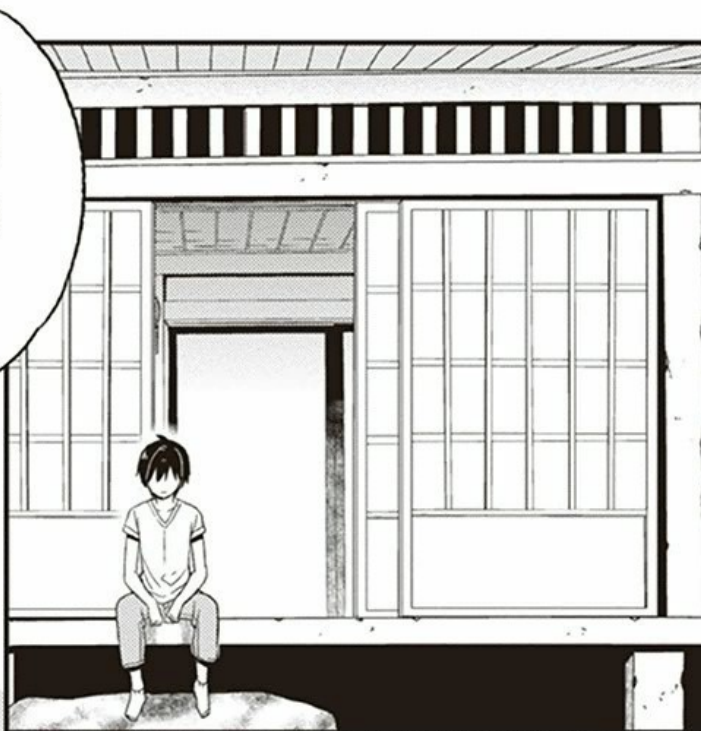
どうすれば  
いいの...？



さっそく  
行こうか

めんどう  
面倒は早め  
はやく  
済ますに  
かぎ  
限る

わかりました  
鎖は？



さいきん  
最近  
は  
ちょうし  
調子が  
よ  
良いのだ

いらぬ



クク。



なんでだよ!



旦那様は  
ここで  
待っておれ



…浮気者うわきものを  
連れて行って良い  
場所ではないのじや



どういう  
意味だ？

…





私ではない  
誰か  
男になったのは  
わかっておる



旦那様が



ともあれ



ここで  
待っておれ



さすがは  
我が旦那様じゃ

浮気は  
男の甲斐性  
とはいえ  
さつそくと  
驚いたぞ



…もう



二度とヤツには  
渡さぬし

その可能性も  
残さぬ



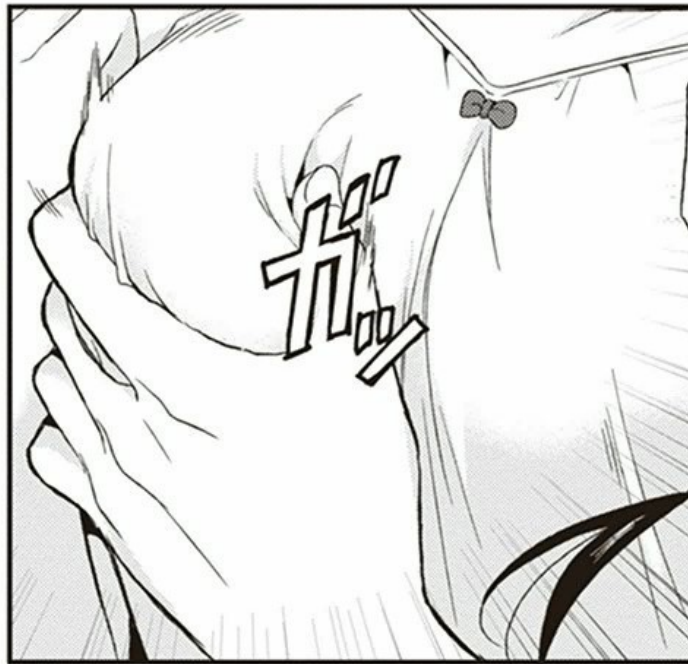
別にまだ媛長とは  
何にもないだろ！

浮気って



何だよ…





んんん!?



うっ

んん!?



ガッ





うう



んう  
!?






痛<sup>いた</sup>っ!  
!




あーあ…





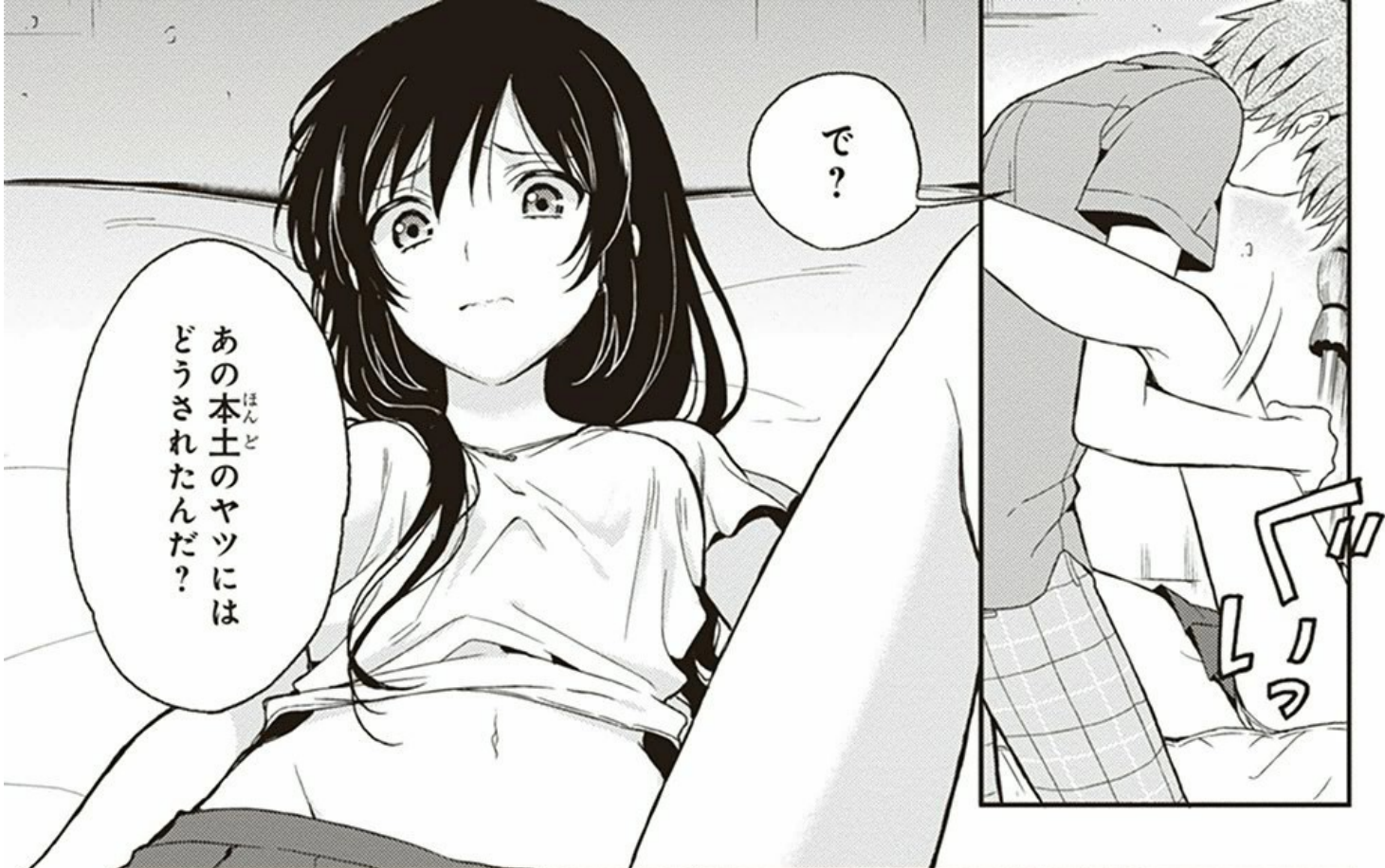
こ  
う  
い  
う  
の  
も  
悪  
く  
な  
い  
か  
と  
思  
っ  
た  
ん  
だ  
が  
な



俺  
だ  
っ  
て  
わ  
か  
っ  
た  
ら  
も  
う  
抵  
抗  
は  
終  
わ  
り  
か

何  
だ  
？

つ  
ま  
ら  
ん

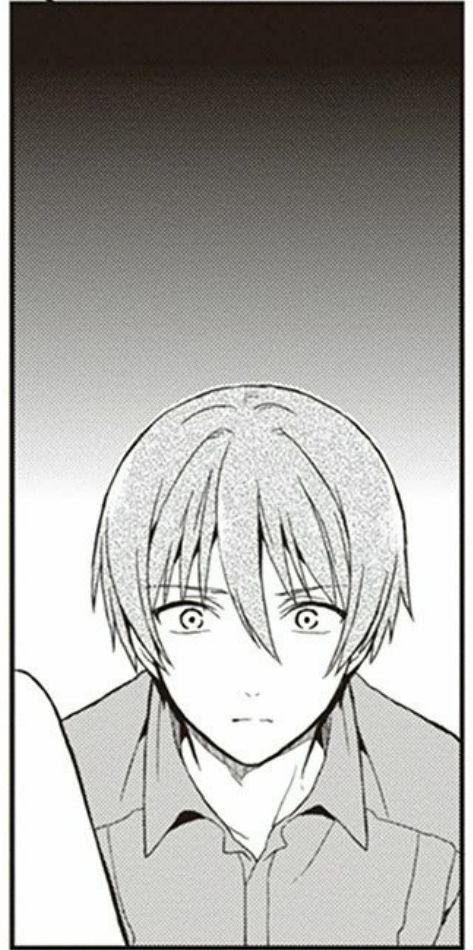


結局

お前は  
俺のところ  
戻ってくるか  
ないんだ













ちようど良い

あの本土の男に  
けがされたからだも  
取り替えようか



…そうだな



かつ  
は



それに  
からだか  
身体が替われば  
おもいだすかも  
しれないしな









大丈夫か!?





もう…  
だいじょうぶ  
大丈夫だから

だいじょうぶ  
大丈夫…



ギョッ



俺は…

殺されそうに  
なってる  
夜戸さんを見ても  
すぐに動けなかった



恐怖から  
じゃない





俺は  
あの時

——興奮  
していた…





# 第十五話





俺おれはやっぱり

どごか  
おかしいのか…？



ギョウウ

梶浦かじうらくんっ

ちよつと  
苦くるしい…

あつごめん…





ありがとう



助けてくれて

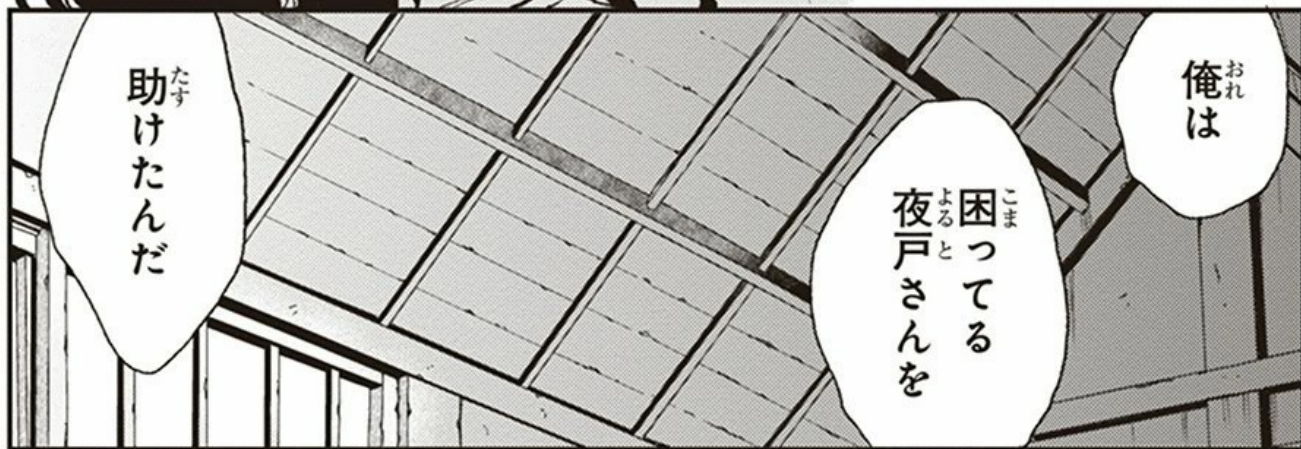




もちろん  
よると  
夜戸さんを  
たす  
助けたんだ

あ！

ああ  
そうだよ



たす  
助けたんだ

おれ  
俺は

こま  
困ってる  
よると  
夜戸さんを























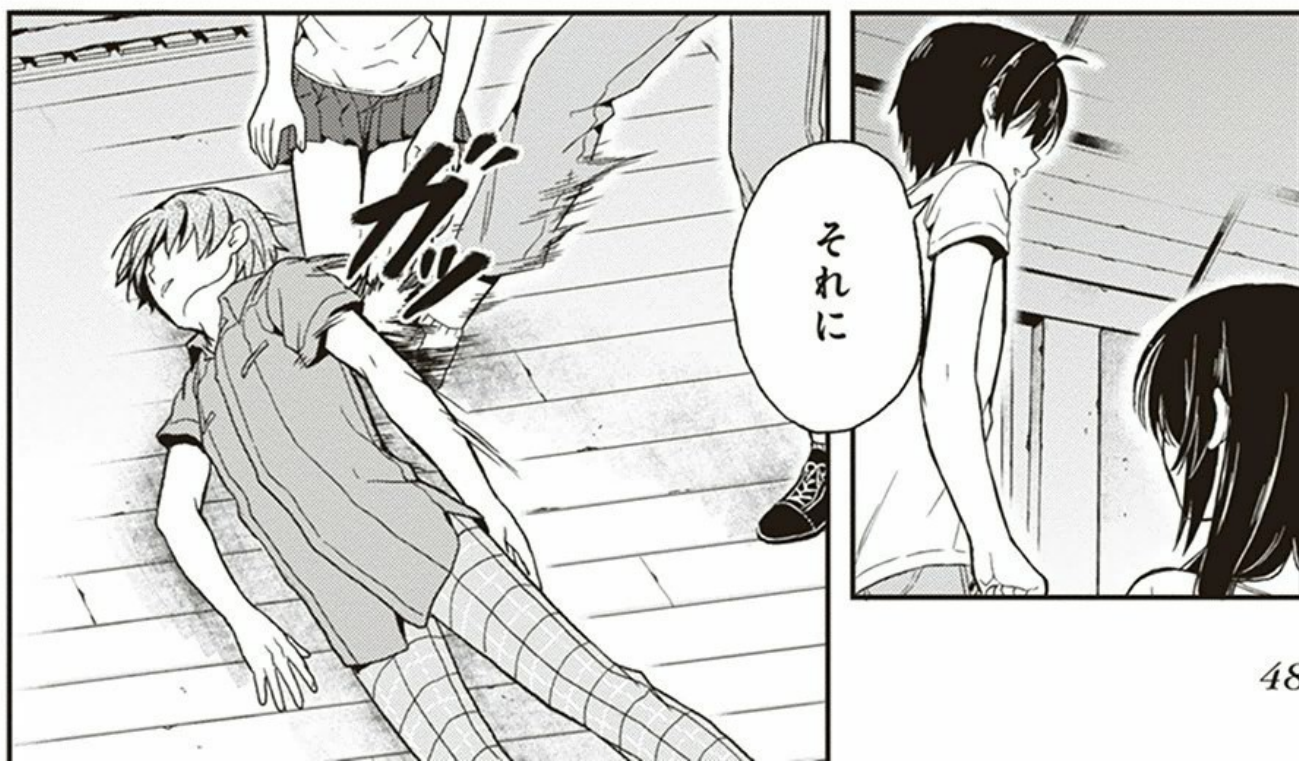


こいつらだって  
先生や菅野を  
殺したんだ

…にしたって  
自業自得だろ



虫ケラ  
みたい



それに

どうせ

また<sup>からだ</sup>身体を  
の<sup>か</sup>替えて  
乗り<sup>ふっかつ</sup>替えて  
復活するんだろ



…  
ちが  
違  
う



おとしゅう  
男衆は身体を  
か  
の  
か  
り  
替  
え  
な  
い  
の

うつ  
移  
っ  
て  
い  
く  
の  
は  
おんじゅう  
女衆だけ…



…は？

どうい  
う  
こ  
と  
だ  
よ



男衆は

死んだら  
身体と魂の  
絆の糸が切れて  
それでおしまい

だから男衆は  
定期的に身体を  
若返らせる

一方

女衆は  
古い身体を捨てて  
別の身体に乗り替える

この島では

男衆と女衆は  
別の生き物なの





私<sup>わたし</sup>たちは  
生き<sup>いき</sup>物<sup>もの</sup>か  
どうか<sup>どう</sup>も

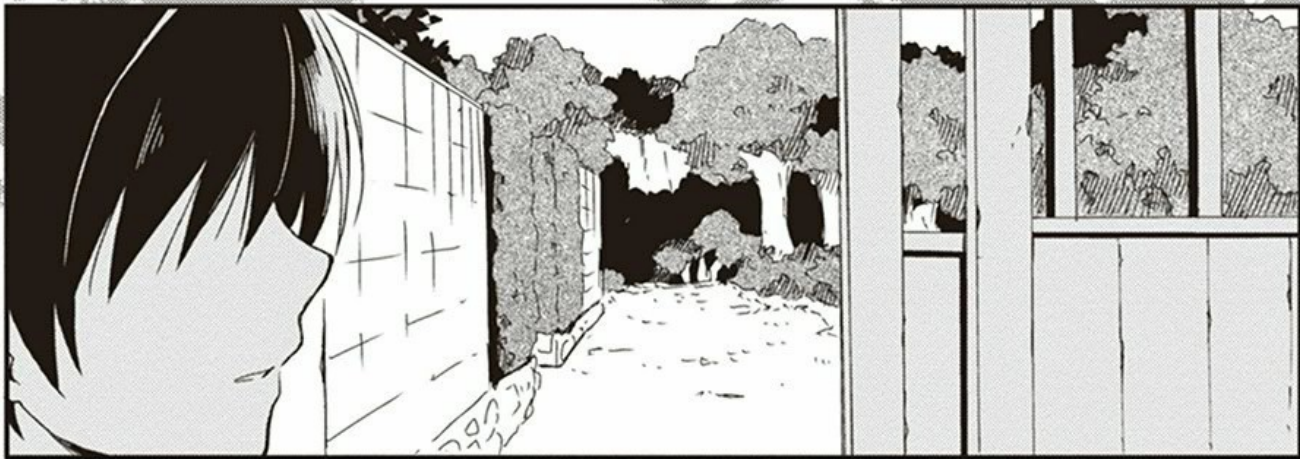
もう  
よく<sup>よく</sup>わ<sup>わ</sup>か<sup>か</sup>ら<sup>ら</sup>ない<sup>ない</sup>の



第十六話



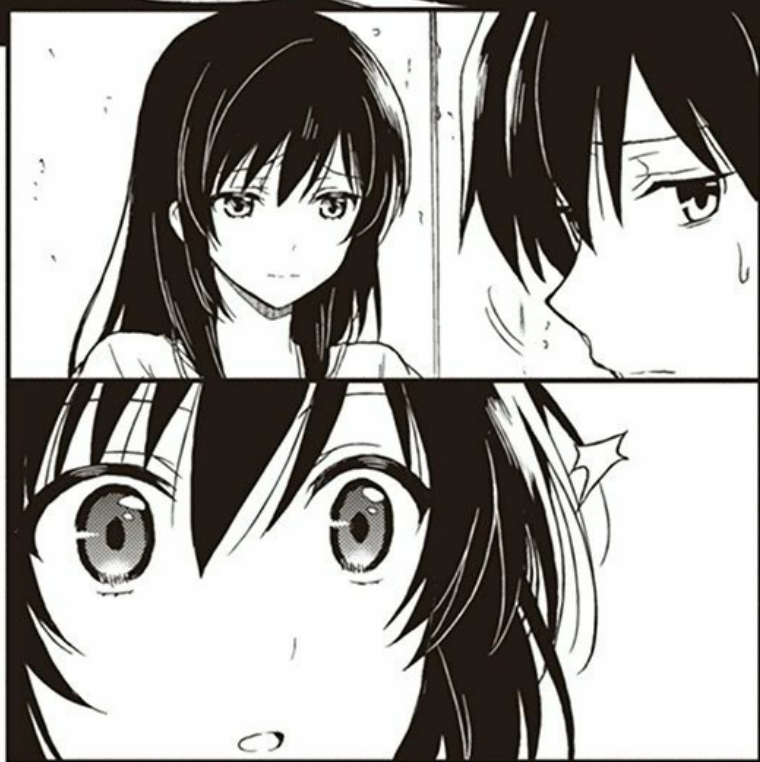




どうやって…？



さつきモノが  
おし  
教えてくれた  
定期船に乗れば…





それが  
来るまでには

あと二日ふつかも  
あるんだろ!?



俺おれも  
その話はなしは聞いて  
知しってるよ…







もうだめだ……

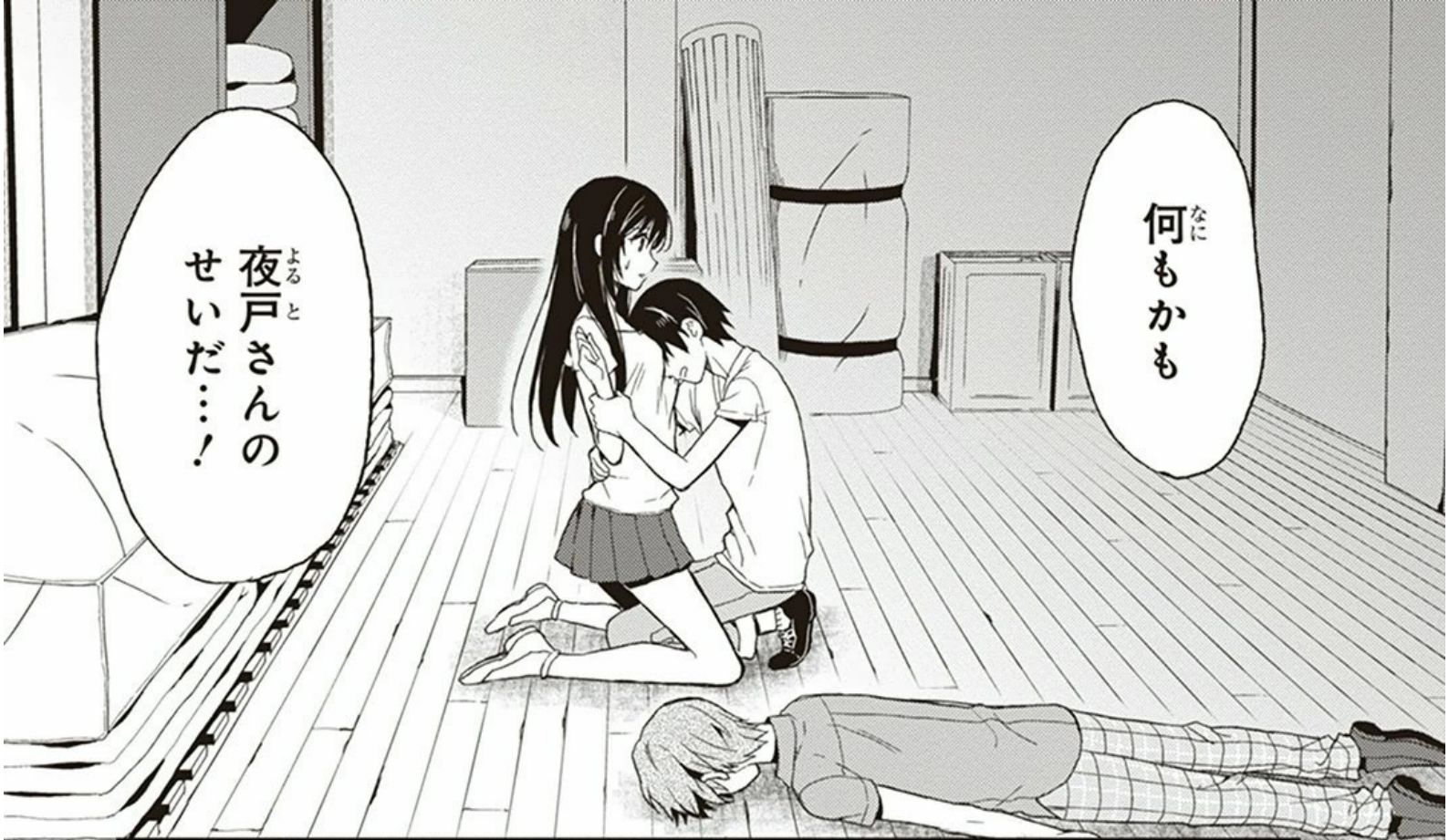
お……俺は



俺も……







夜戸よるとさんの  
せいだ…!

何もかも



梶浦かじうらくん



……なあ……



おれを  
助けてくれよ...



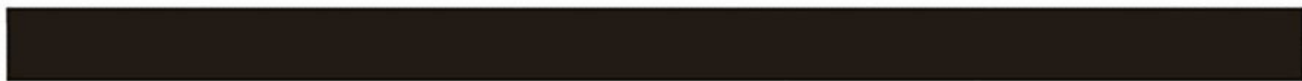
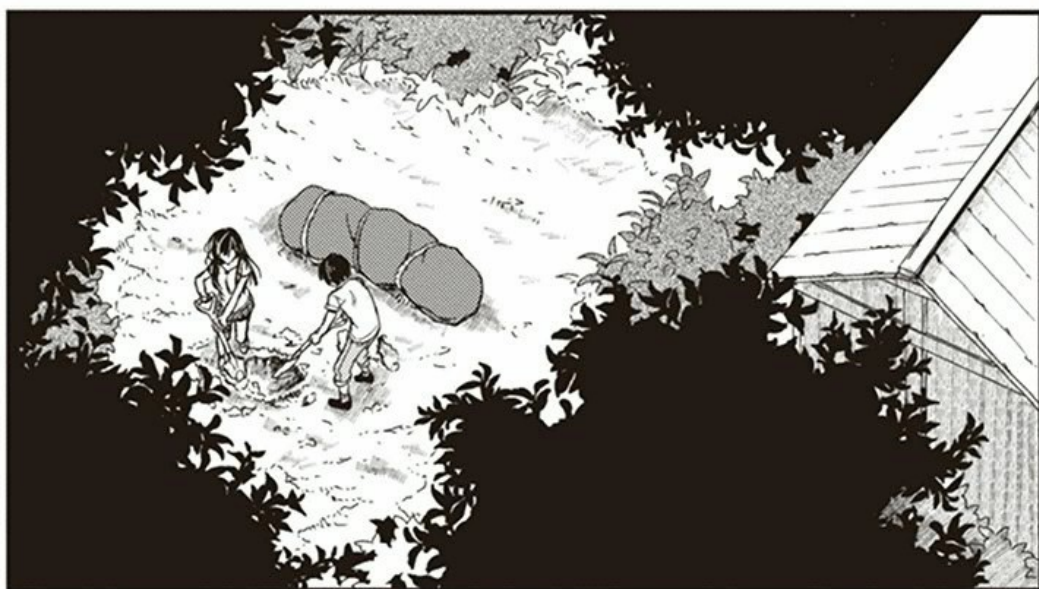




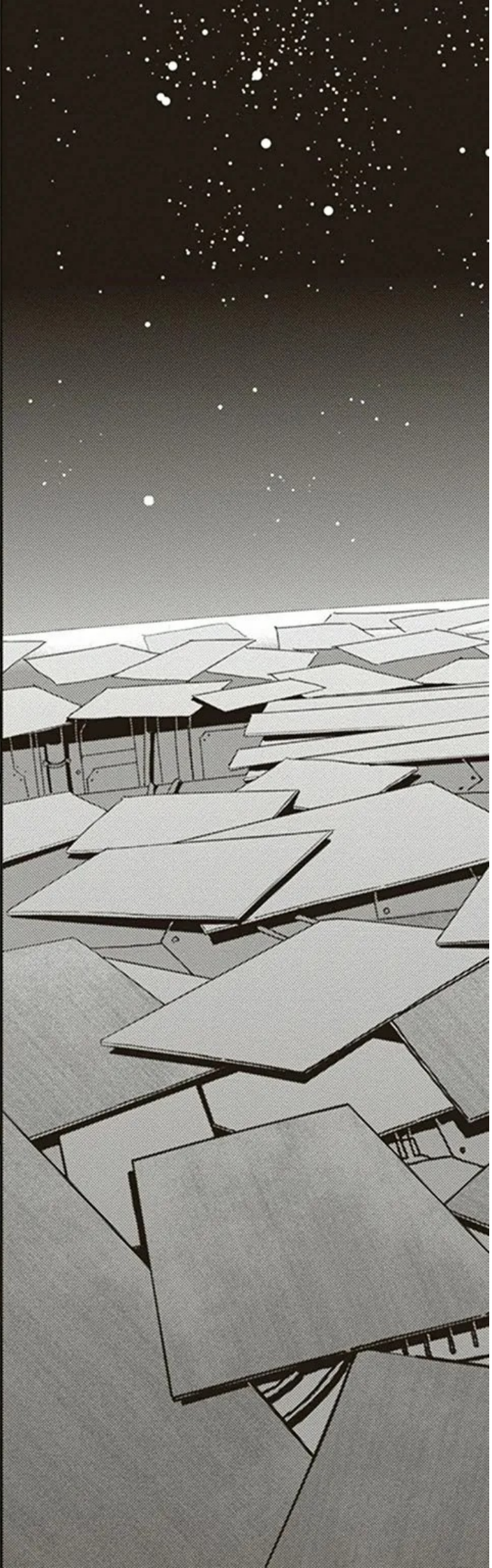








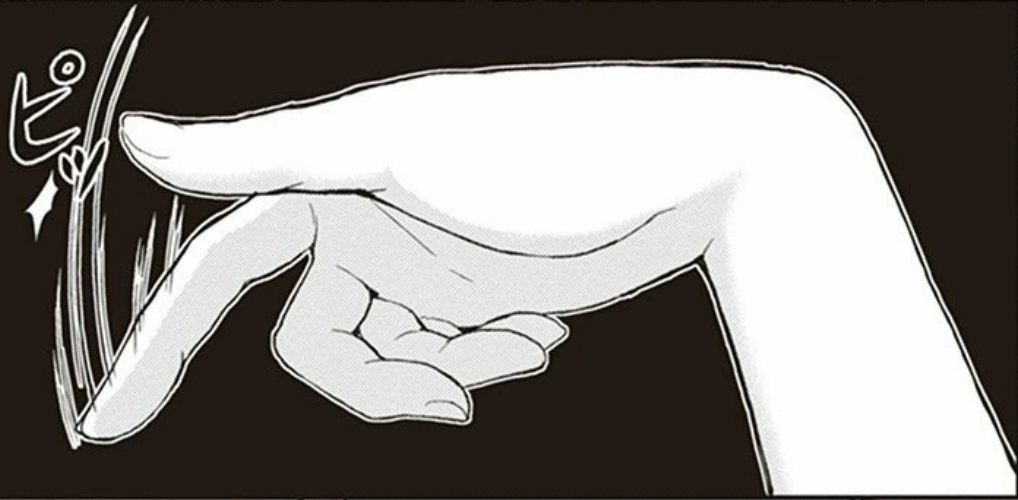








これを



外そとに運はこび出だせ



この島には

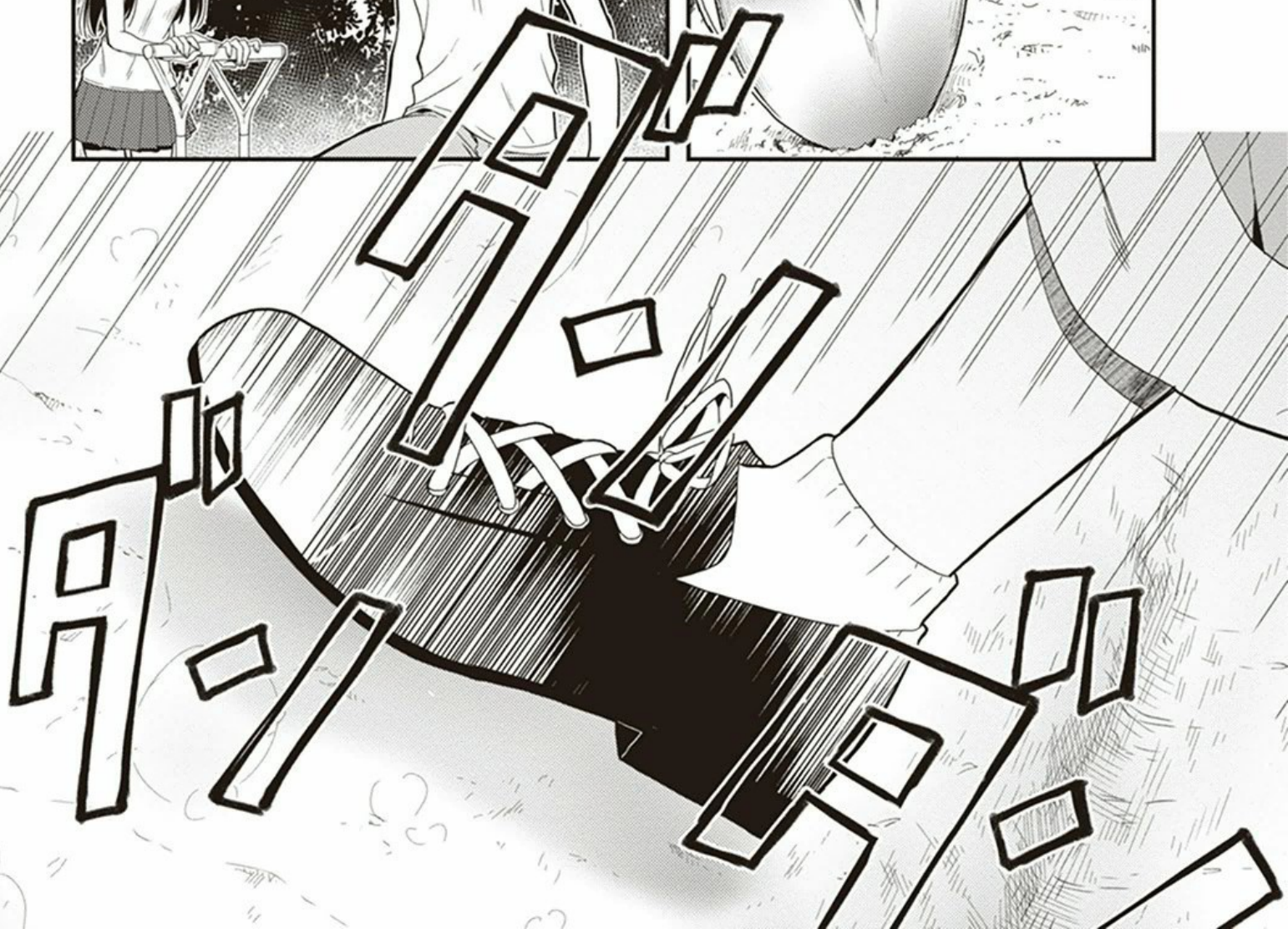
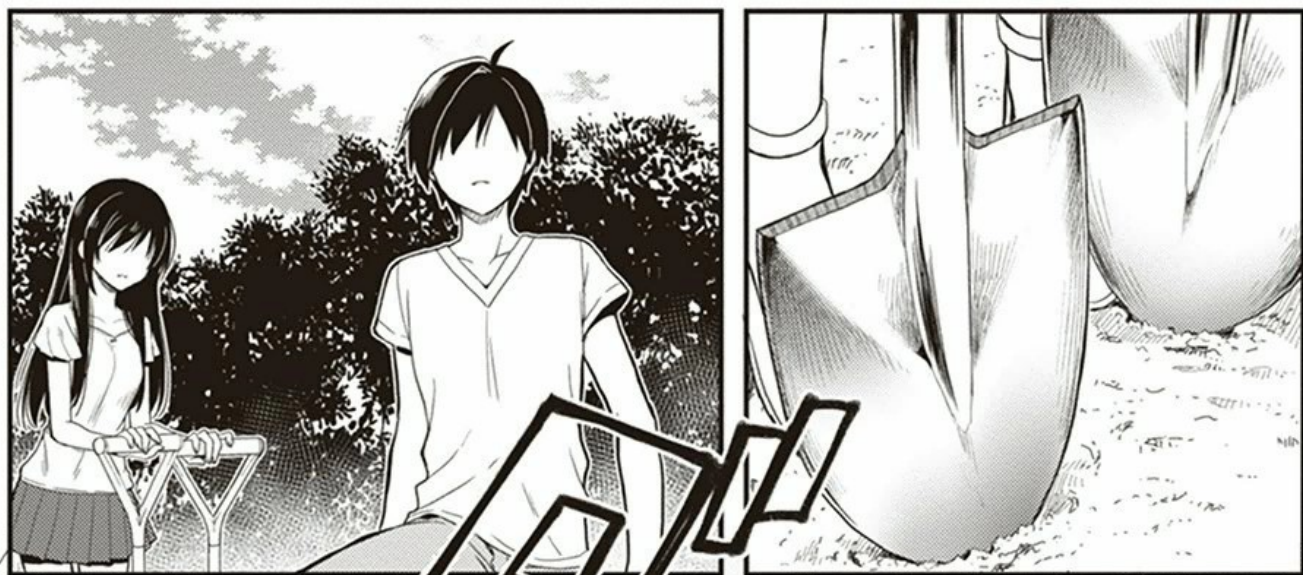
淫らで

邪悪な

モノが棲む



第十七話









ブツ  
——  
かんが  
考えろ

ブツ  
どう  
動くべきか…

あと二日間  
生き残るには  
これから何を  
すればいいか…

ブツ



ガサッ





死し体たいを隠かくして  
終おわり：  
じやないよな？

……なあ



えっ？

姿すがたが見みえないと  
普通ふつうは誰だれかが  
気き付づく  
この狭せまい  
島しまの中なかなら  
なおさらだ



……  
つと……

夜よる戸とさんの  
兄あにがいない：  
それには誰だれが  
最さい初しょに気き付づく？



ああ…

そうか

ただ単に  
戸籍上の関係が  
あるだけだから…

今の兄さんの  
母親はたぶん  
兄さんにあまり  
興味がないと思う



戸籍だけ  
誰かの子供として  
生まれたことに  
してるの

死なないのは  
不自然だから



男は若返る  
だけで

身体は  
そのまま——  
だっけか…





ってことは  
妹の海も  
関心はほとんど  
ないはずだよ



いちばんしいのは  
私わたしだったんだと  
おも  
思う…



だから

ハルいちばんが一番に  
気付きづかないと  
いけないんだけど



私わたしは  
カルマ落ち  
だから







うん

まとめると  
可能な限り  
普通に過ごして  
定期船のタイミングで  
逃げ出す  
それでいいんだよね？



…けど



……



…じゃあ  
私は戻るね



念のため  
万が一見つかった  
ときのことを考えて  
おいたほうがいいな



ダメだ



よると  
夜戸さんは  
いちどおれ  
一度俺を  
うらぎ  
裏切った



俺は

よると  
夜戸さんを  
信用したい  
……けど



……信用  
できない



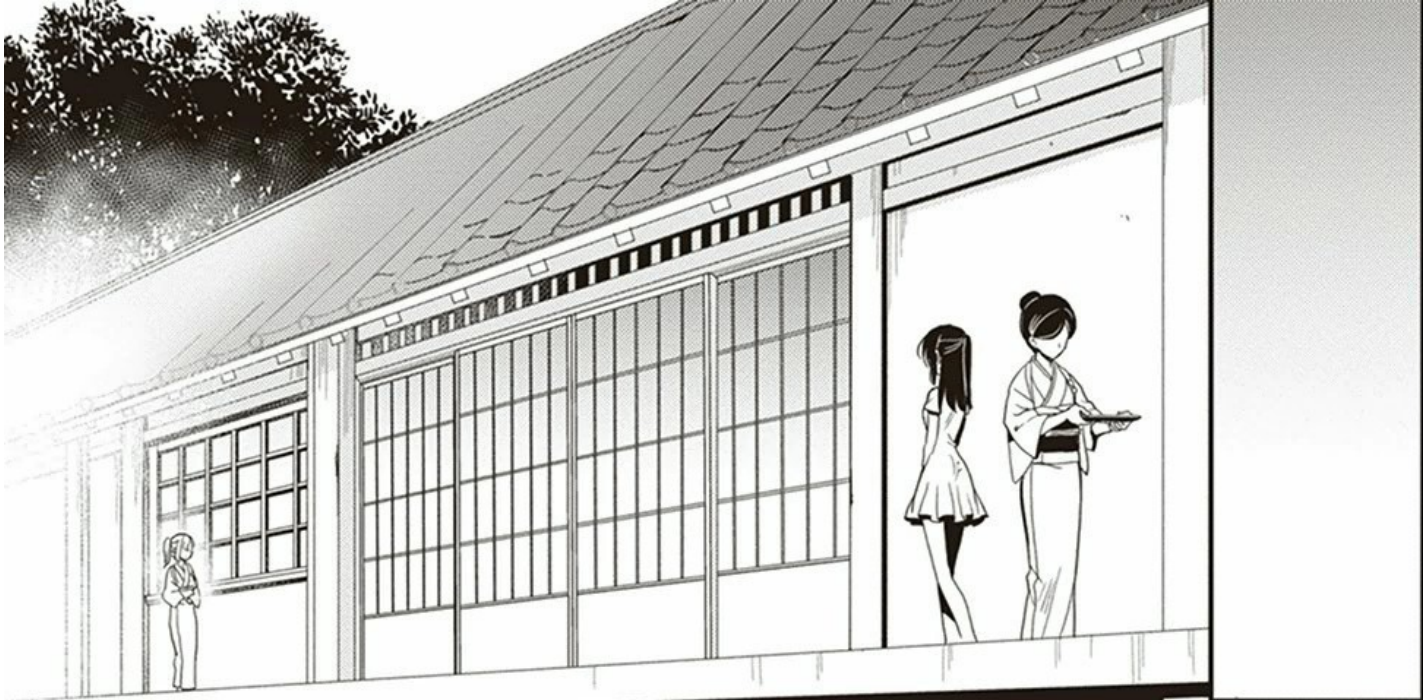
トイレも  
風呂も



今後  
俺が見えない  
ところに行くのは  
許さない



24時間<sup>じかん</sup>  
ずっと一緒だ<sup>いっしょ</sup>



で？  
何<sub>なに</sub>用<sub>よう</sub>だ

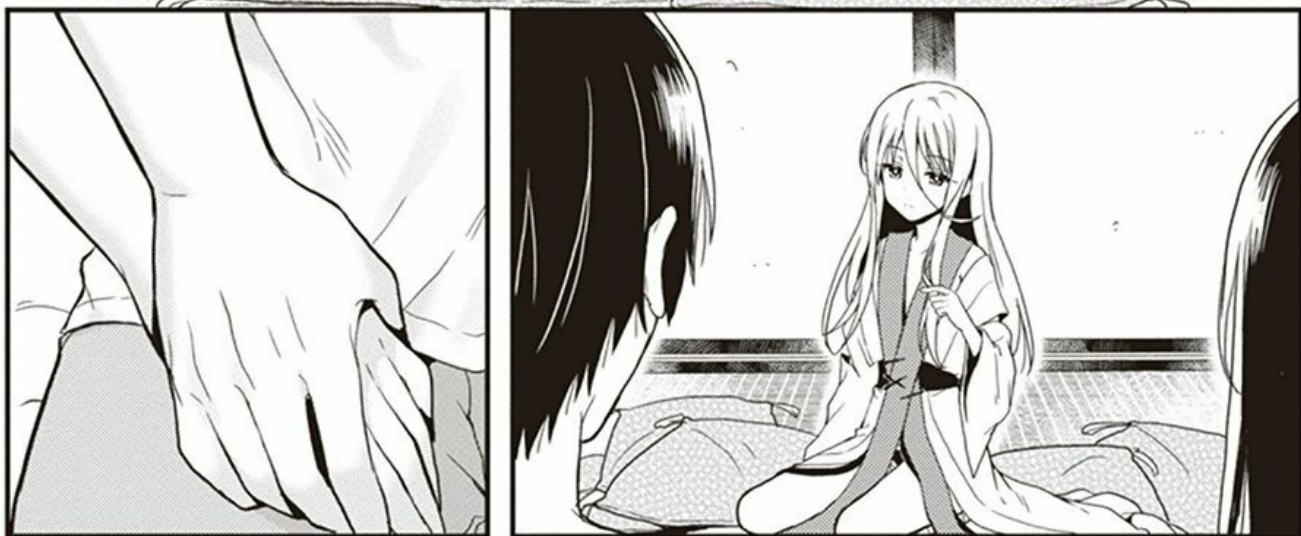


なに  
おもしろ  
面白<sub>おもしろ</sub>い見<sub>み</sub>世<sub>せ</sub>物<sub>もの</sub>が  
始<sub>は</sub>まる<sub>ま</sub>る<sub>る</sub>だけ<sub>だけ</sub>じ<sub>じ</sub>や

騒<sub>さわ</sub>がしいな…  
何<sub>なに</sub>かあ<sub>あ</sub>った<sub>った</sub>のか<sub>のか</sub>？



よると  
夜戸さん  
をおれ  
に欲しい



何と...  
か...

いろいろな  
練習に  
使用したいんだ

...ほう

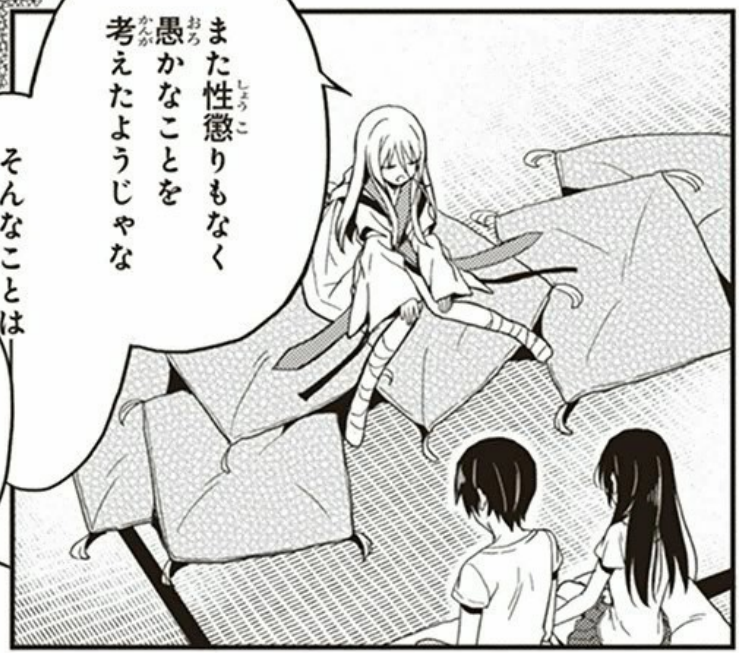
何故だ?



一週間

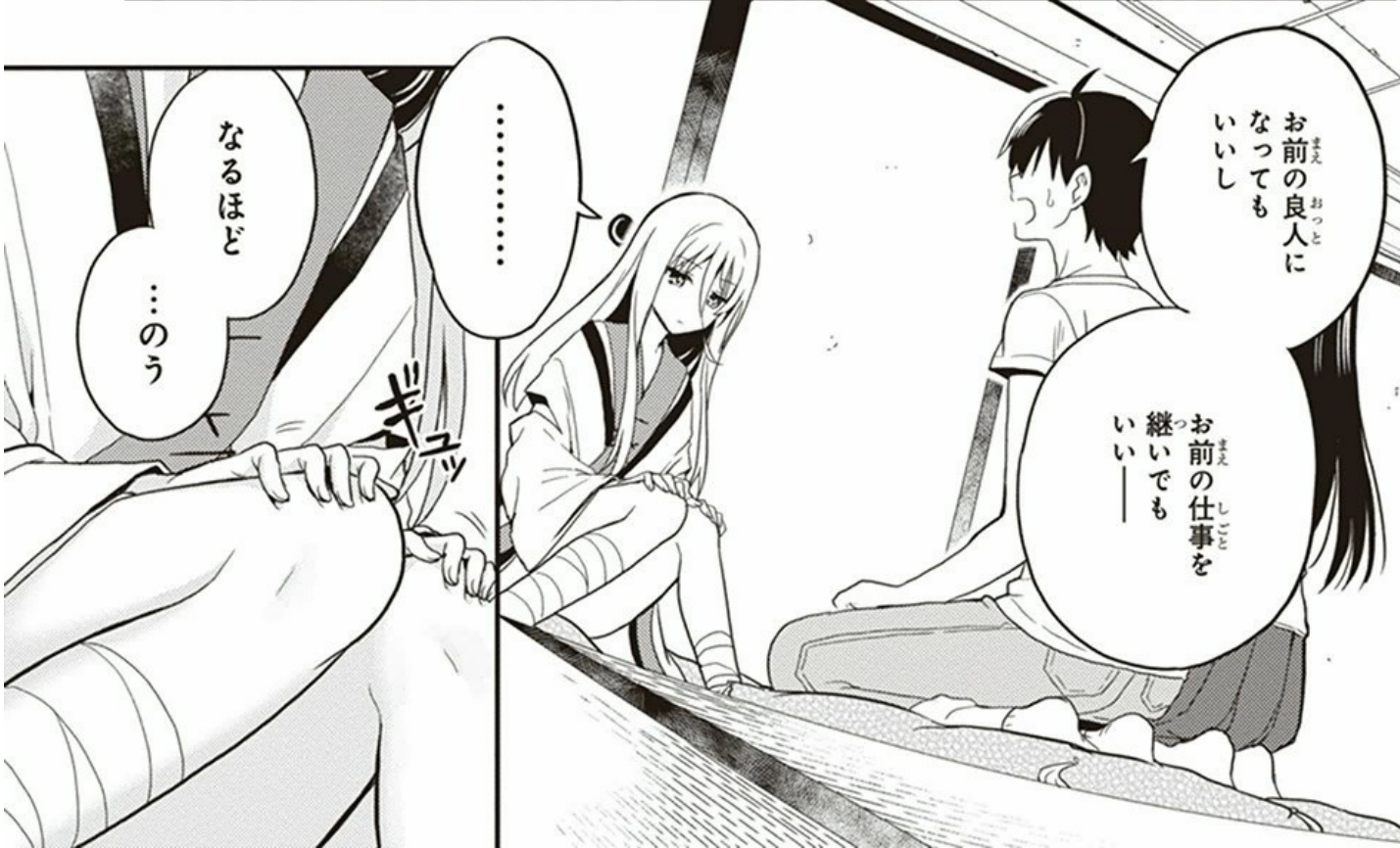
そんなことは

また性懲りもなく  
おろかなことを  
考えたようじゃな



あの魂の  
コントロールってのを  
夜戸さんに  
手伝ってもらって  
練習する

それが終わったら  
お前の言うことに  
何でも従う



お前の良人になっても  
いいし

お前の仕事を  
継いでもいい——

なるほど

…のう

……

いっしょかん  
一週間か…

昔<sup>むかし</sup>を  
おもい出すの

おなじ<sup>おなじ</sup>試<sup>たま</sup>しを経<sup>へ</sup>て  
今<sup>こんど</sup>度<sup>ど</sup>こそこやつを  
我が<sup>わが</sup>物<sup>もの</sup>にするのも  
一興<sup>いっしょう</sup>か

ボソ





は？

練習の相手を  
私にするのなら  
認めよう



その  
一週間



準備が  
整いました



媛長様

何を…

え？



わ  
おと  
我が良人となる  
ならば  
付いてこい

おいっ

…それとも

お  
く  
臆したか？



…もちろん  
行くさ



この島には

淫らで

邪悪な

モノが棲む

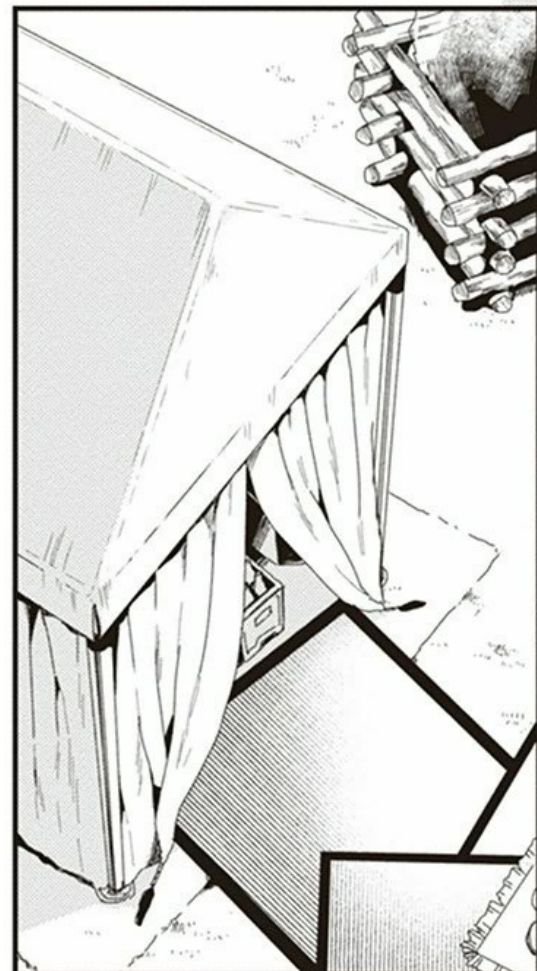
# 第十八話



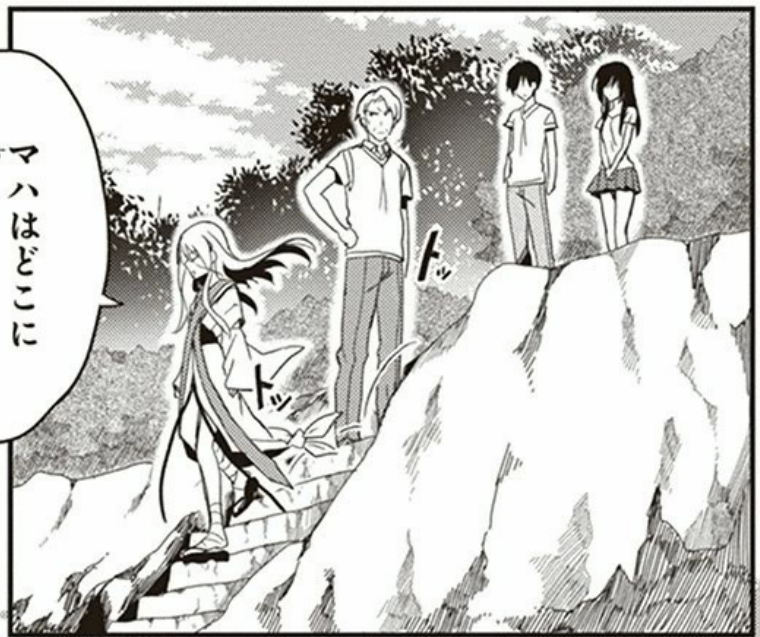


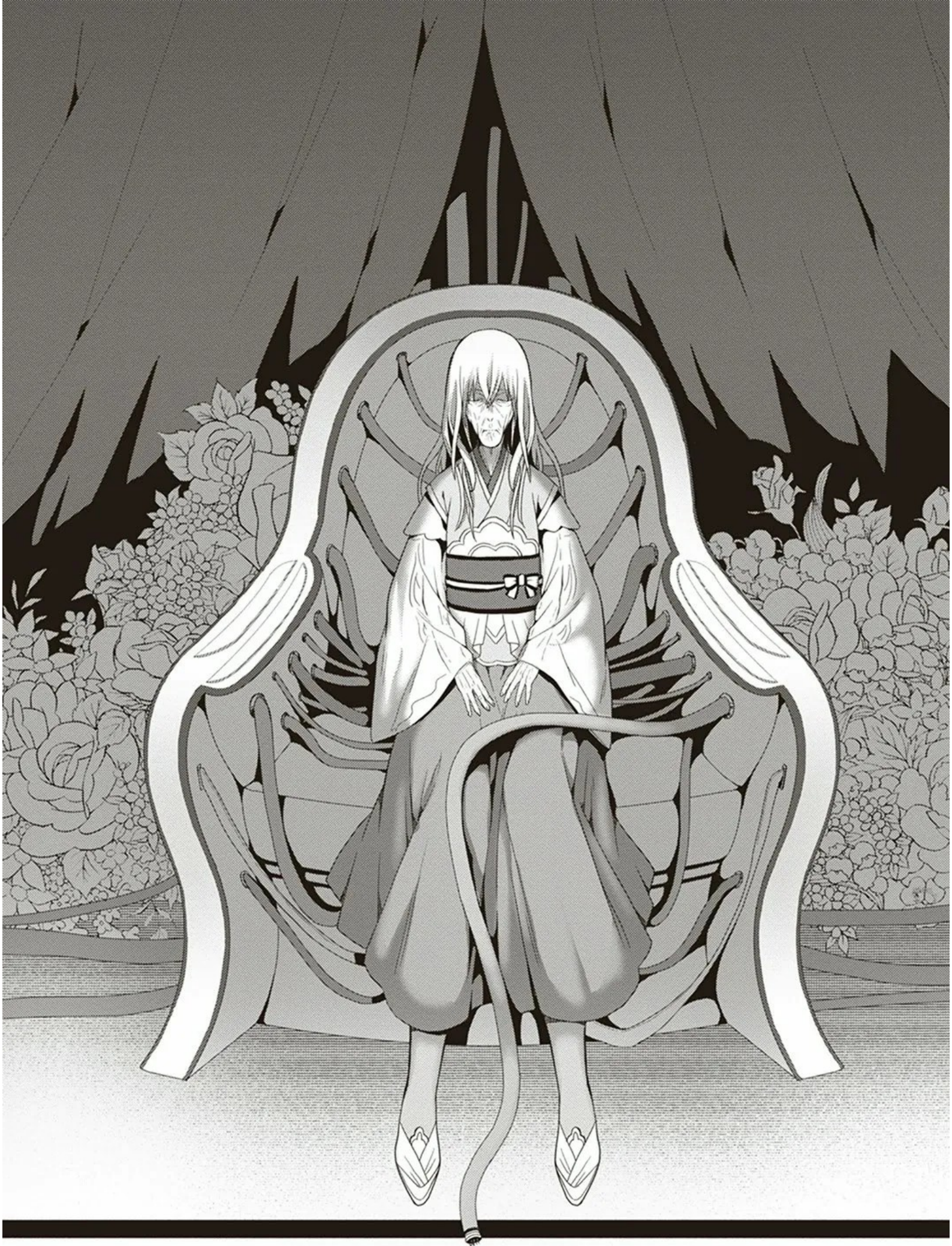
ひ  
陽が落ちるまで  
よ  
四時間ほどか…

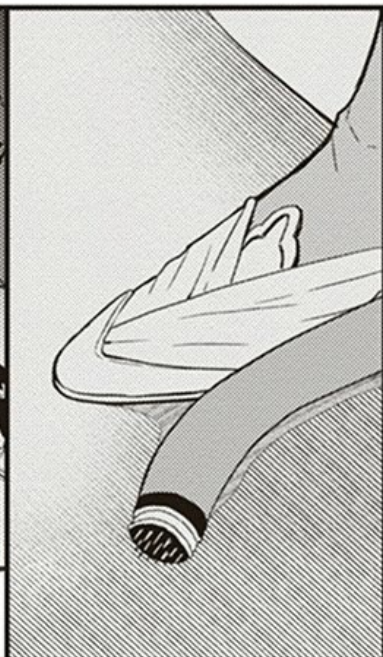




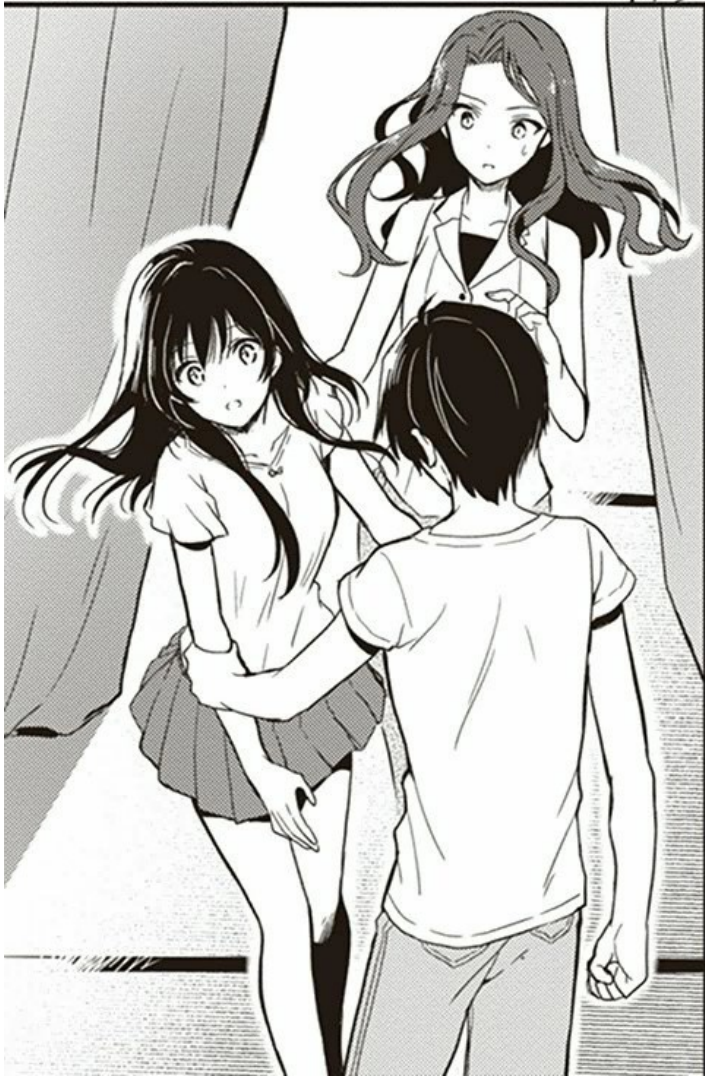














おれ  
俺の許可なく  
だれ  
誰かと話すのも  
きんし  
禁止だ



!?

ちよ——



…ごめんなさい



改めて  
陽の下に晒すと  
醜いの

これが美しさで  
男どもを悩乱させた  
マハとは



やめろ

おいっ



媛長様と  
観音姫の確執は  
よく知っております

ですがその上で  
お願いして  
いるのです



マハの魂魄を  
樹から引き出して  
どこぞの器に  
入れるのは構わぬ

だが

それを管理  
するのは  
私じゃ

とな

マハに勝手に  
されると  
私が困る

それは

しかし…

……

どうじゃ？  
旦那様よ

これを見て  
何か  
思い出さぬか？



おもいだすも  
なに  
何も…



ホロ



なに  
何だこれ…

あれ？





お前は  
その見張りだ

近づいてくる者  
全員を記録して  
おくのじゃ



マハは宴の席から  
少し離れた場所に  
祭りが終わるまで  
晒しておけ



それは  
どういう…



マハを  
このようにした  
人間が  
この島にはいる



…まあ  
いずれにしろ



その者の動きを  
知りたい



我が儀式により  
マハが舞い戻れば  
犯人は知れるの  
だがな





ほれ

旦那様も  
そのような死体を  
阿呆のように眺めて  
おらずに来よ

あうん…





あれが  
いちろうた  
一郎太の  
かわりか  
代わりか



なんで  
いちろうた  
一郎太を  
よもど  
呼び戻さないんだ？



…それにしても

あれほど  
いちろうた  
一郎太に  
しつこく  
執着していた  
ひめおさ  
媛長が



いちろうた  
一郎太は  
おれ  
俺たちと違って  
樹と繋がって  
たる



…あんな怪物を  
呼び戻したい  
のか

!?

ガ

あいつが  
何をしたか  
思い出せ

それとも  
また島を  
滅茶苦茶に  
したいのか?



そんなわけ  
ない…っ



まっ  
まさか…



ならば  
黙っておけ

余計な波風を  
立てるな

ゴホ





われ  
我らの手に  
かんのんひめさま  
観音様を  
と  
取り戻すのが  
さいゆうせん  
最優先だ

とにかく



涙  
なんて...

なんで





あの夢…  
何か関係が  
あるのか？



夜戸さんは  
何か知ってる  
だろうか？

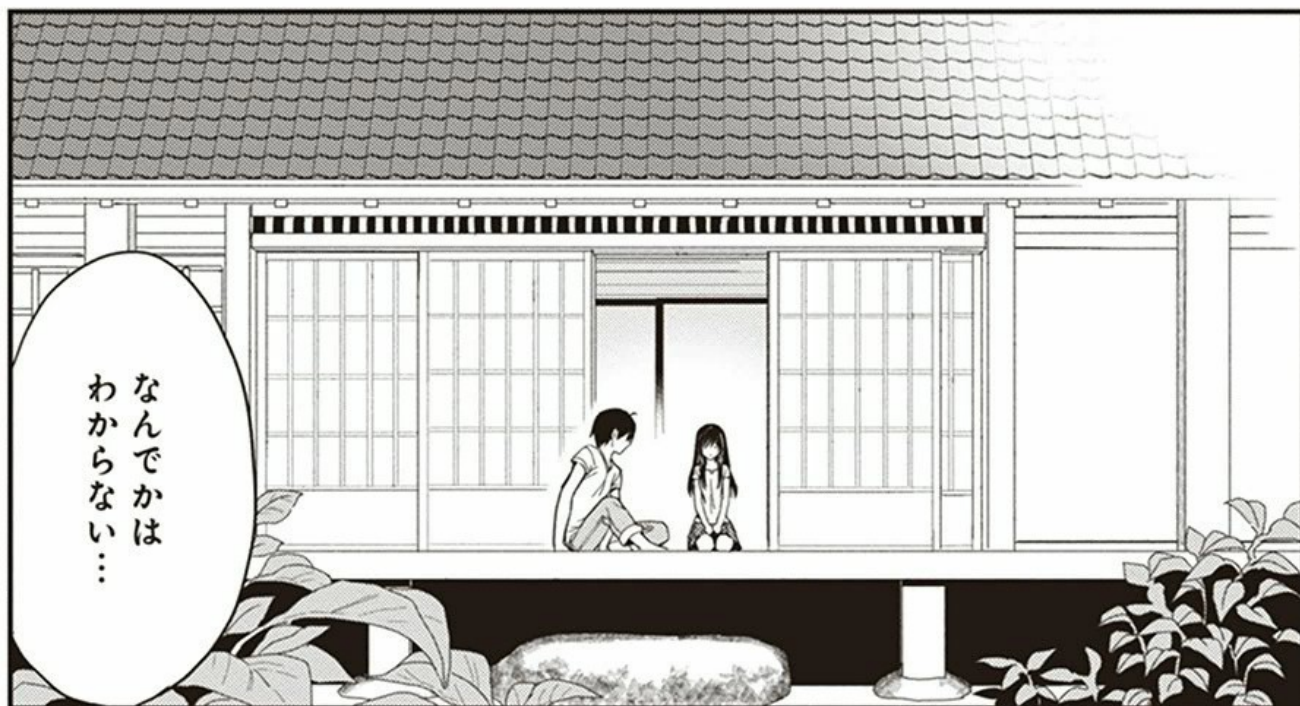


…どうして  
知りたいの？



なあ

さつきの  
年寄りの死体は  
何者なんだ？



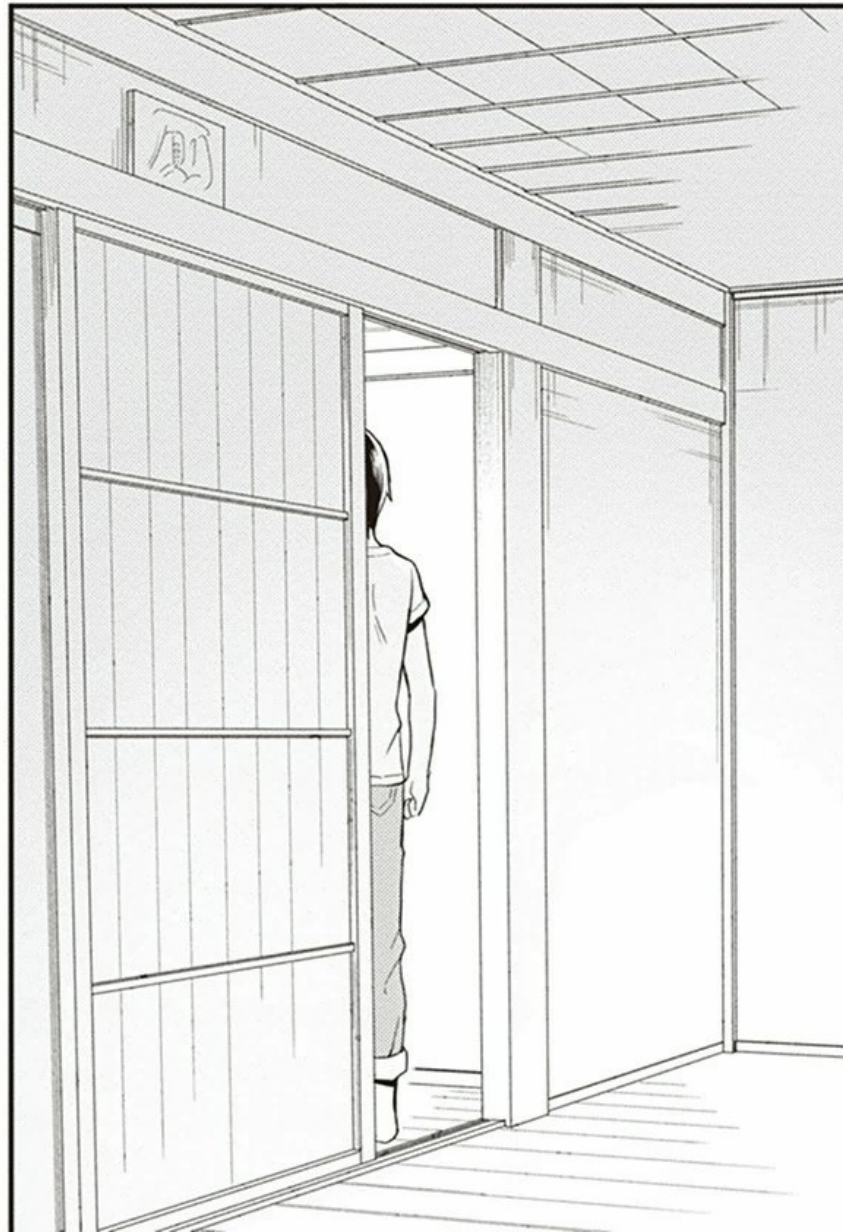
すべての  
始まりの  
一人よ



ポッ  
今にきつと  
思い出すから

…どこに行く  
つもりだ？









俺は  
裏切られた

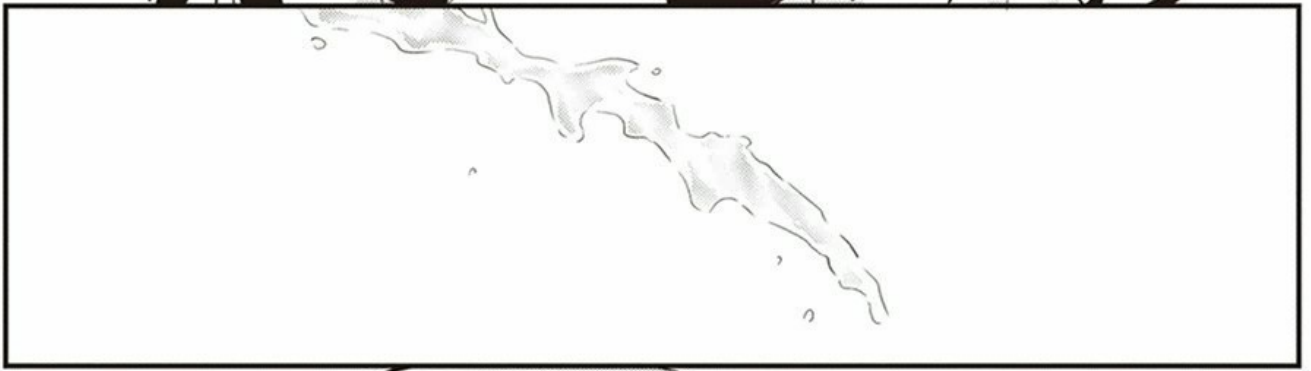
俺は  
夜戸さんにだけは  
裏切られたく  
なかった

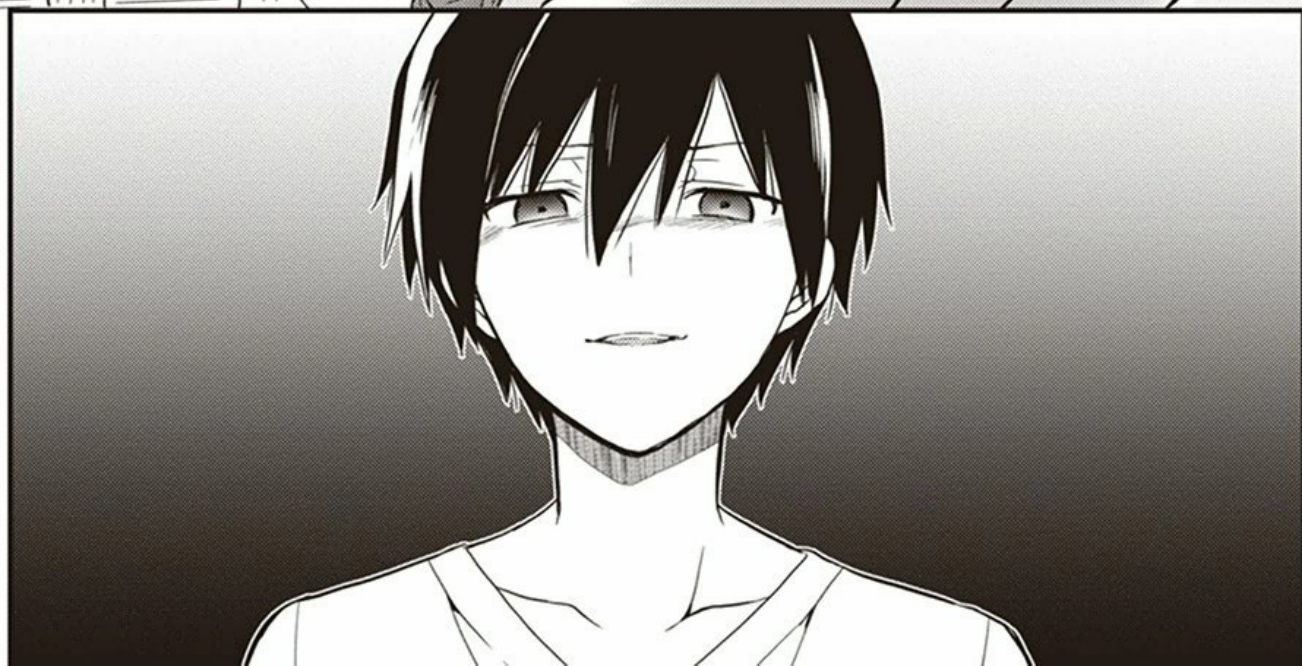
…でも



だから俺は  
夜戸さんを  
信用しない







この島には

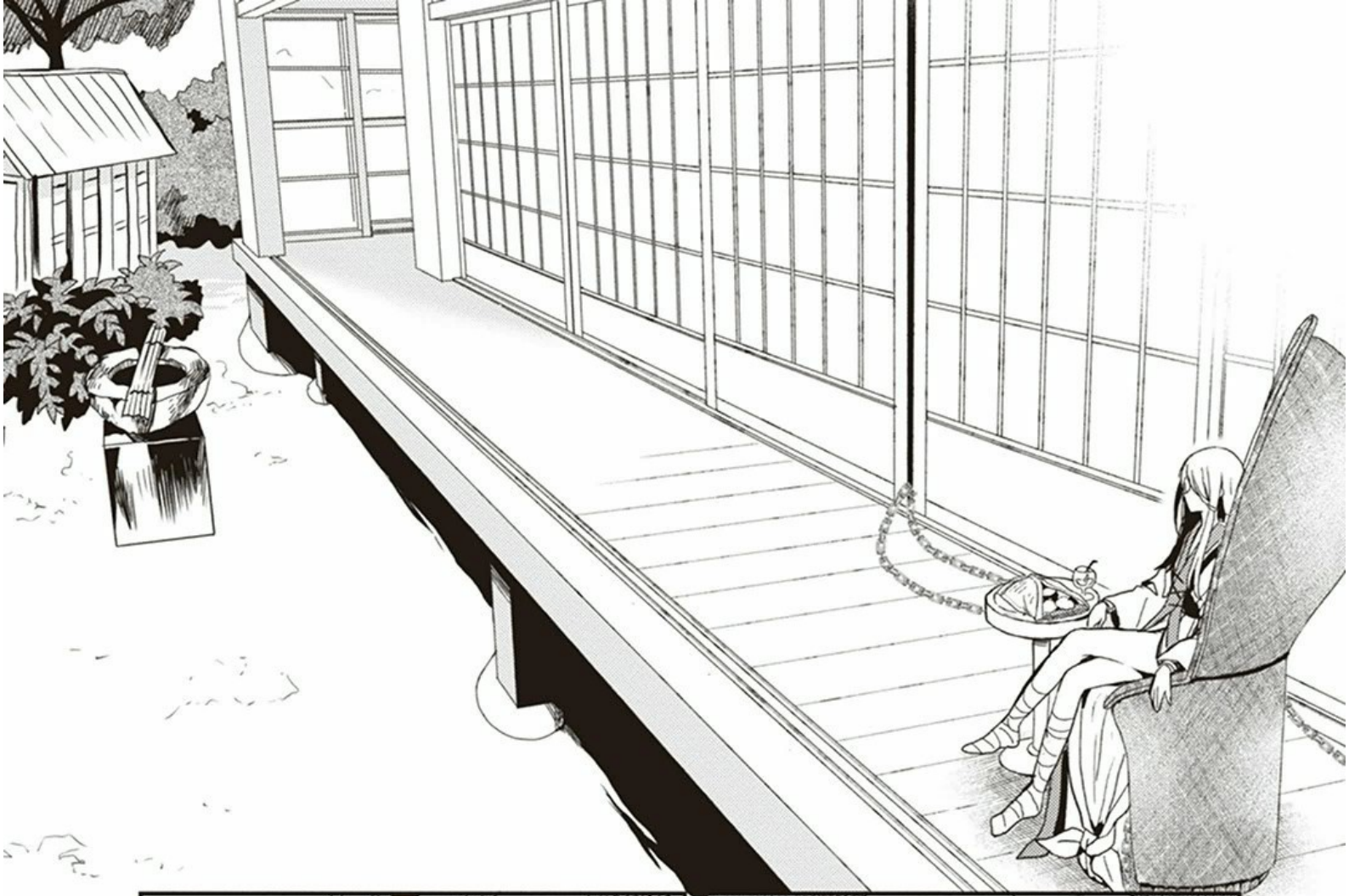
淫らで

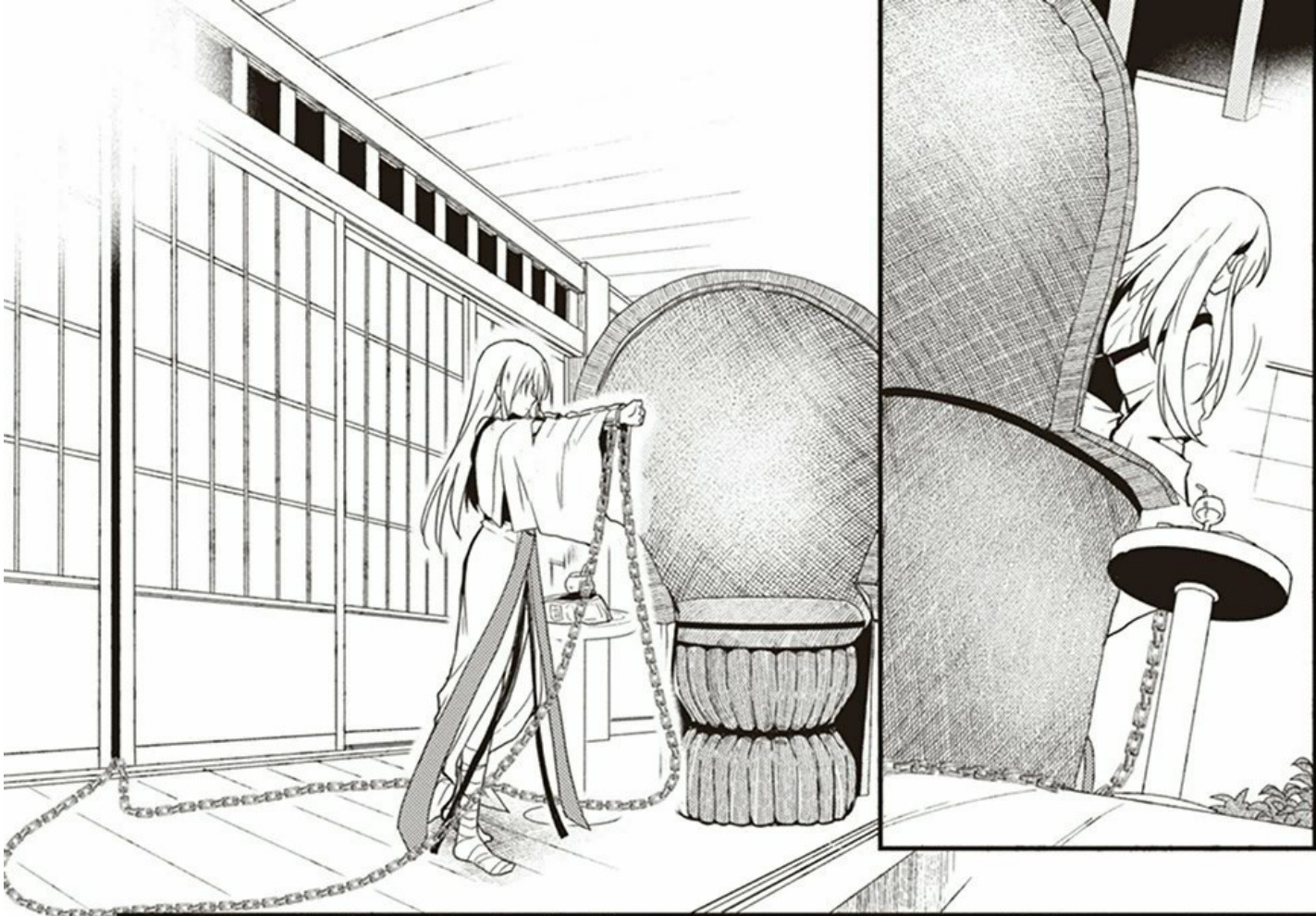
邪悪な

モノが棲む

# 第十九話

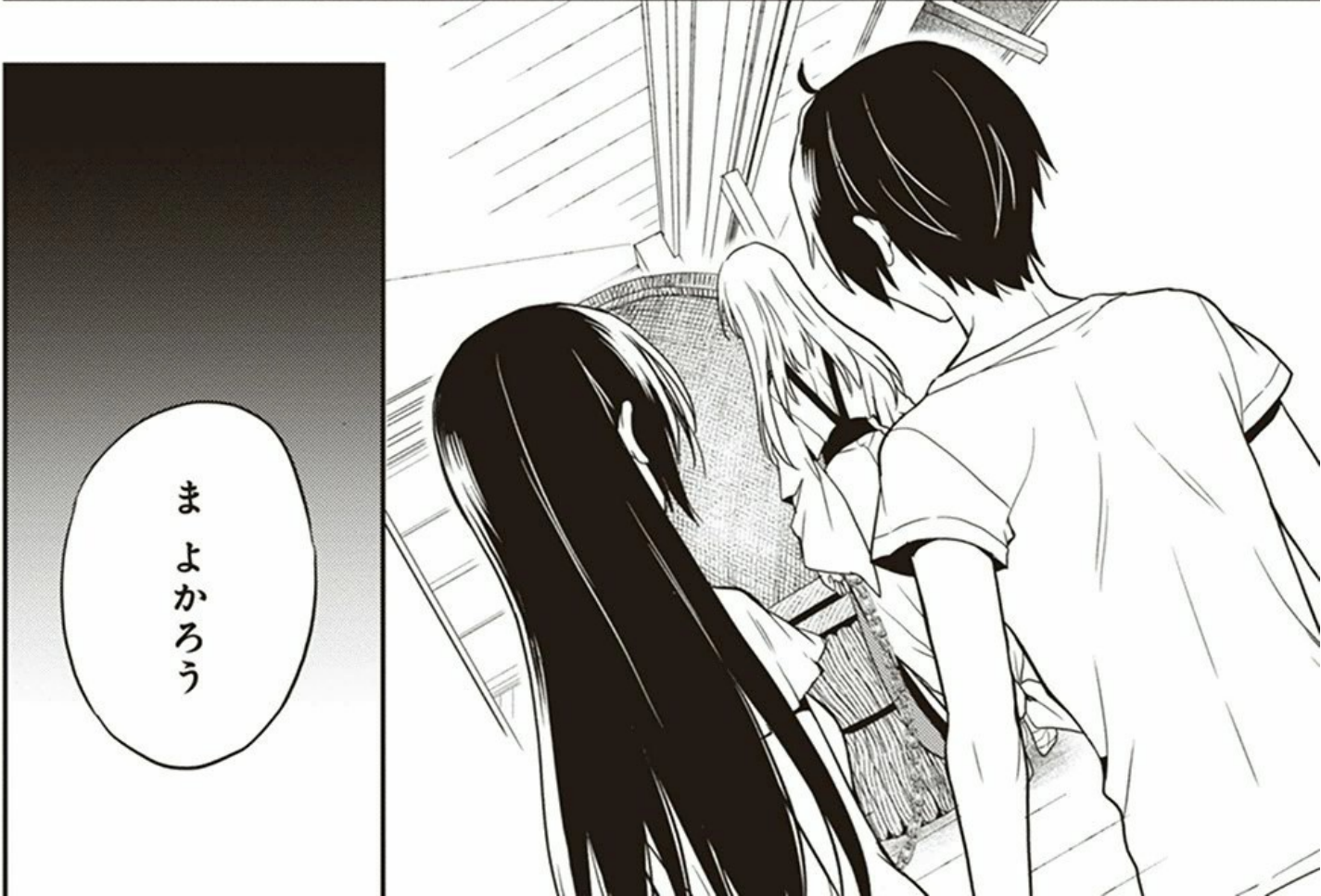










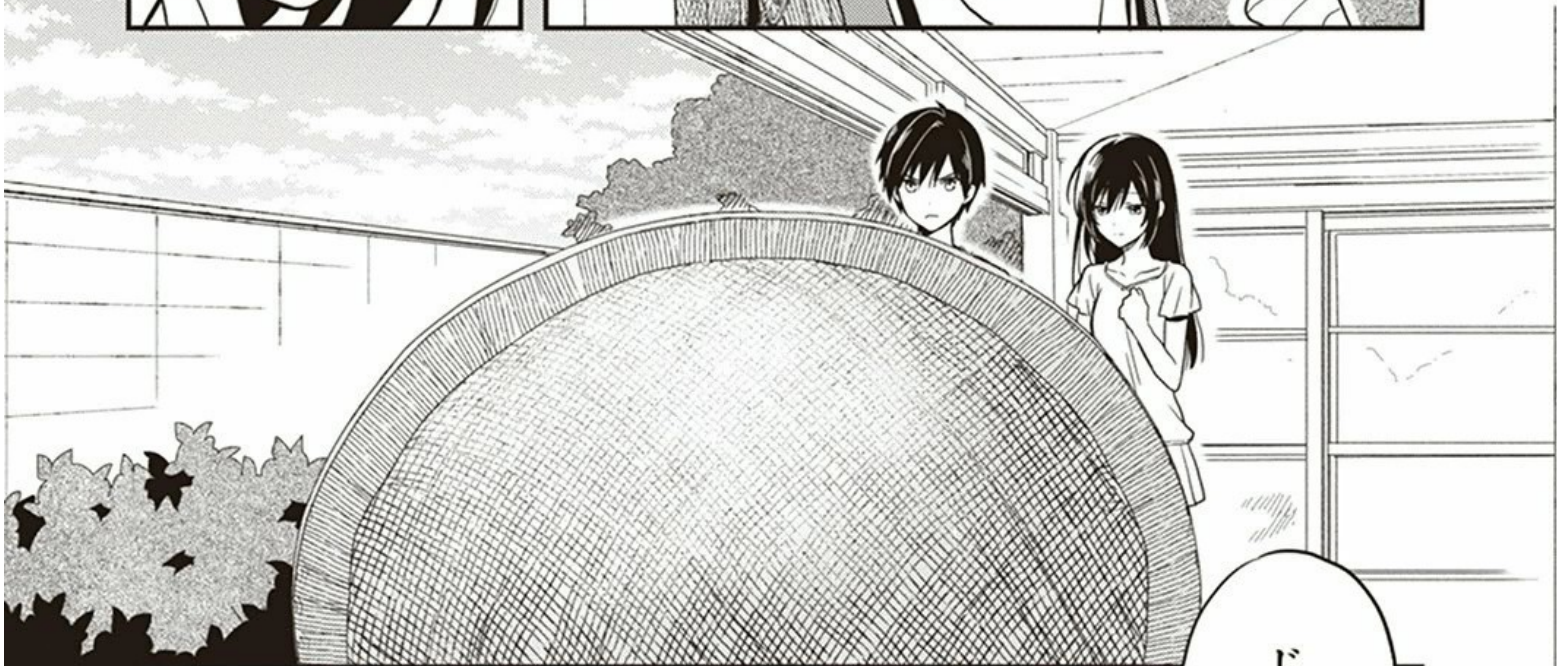




ただし  
仮<sup>かり</sup>じゃな

レンタル移籍<sup>いせき</sup>  
というやつじゃ

ドッ



じゃが

旦那様<sup>だんなさま</sup>が  
約束<sup>やくそく</sup>を  
違<sup>たが</sup>えたり



いつでも  
かいしょう  
解消するぞ

わたし  
うらぎ  
私を裏切ったり  
したならば





…ならよかろう



…俺は  
おれ  
そんなことは  
しない

グッ



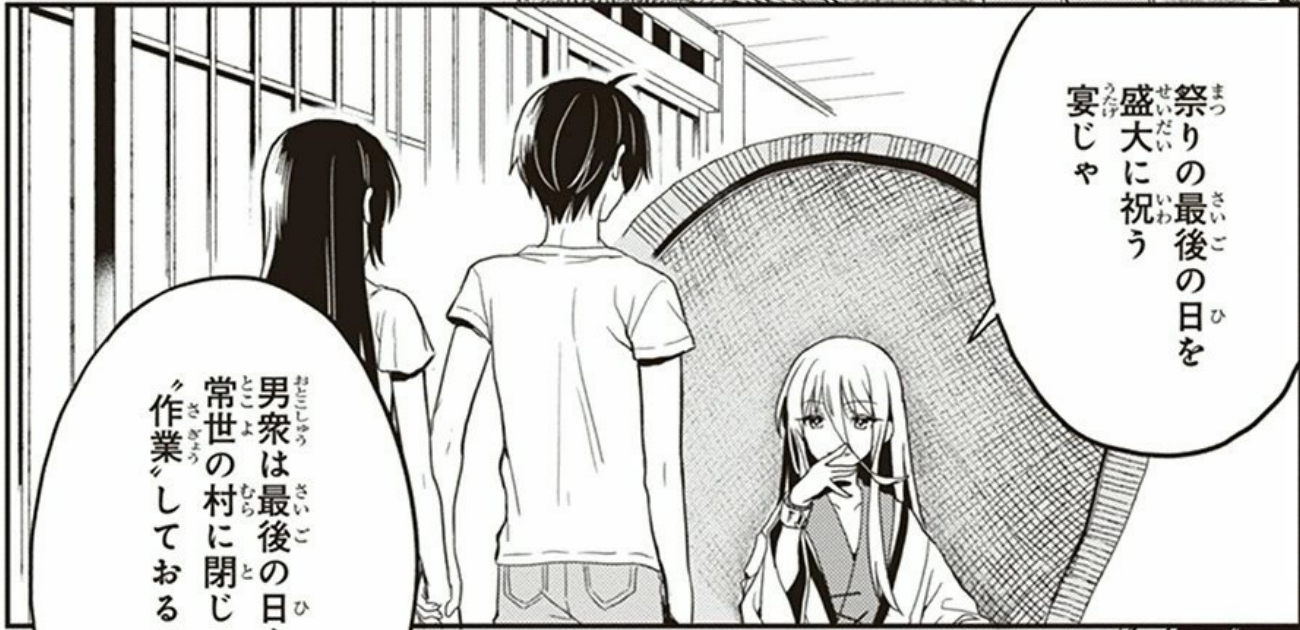
浮気を  
許すのも  
妻の甲斐性じゃ

しばらく  
旦那様に  
預ける



…そういえば







その発散も  
かねて

食<sup>た</sup>べ飲<sup>の</sup>み

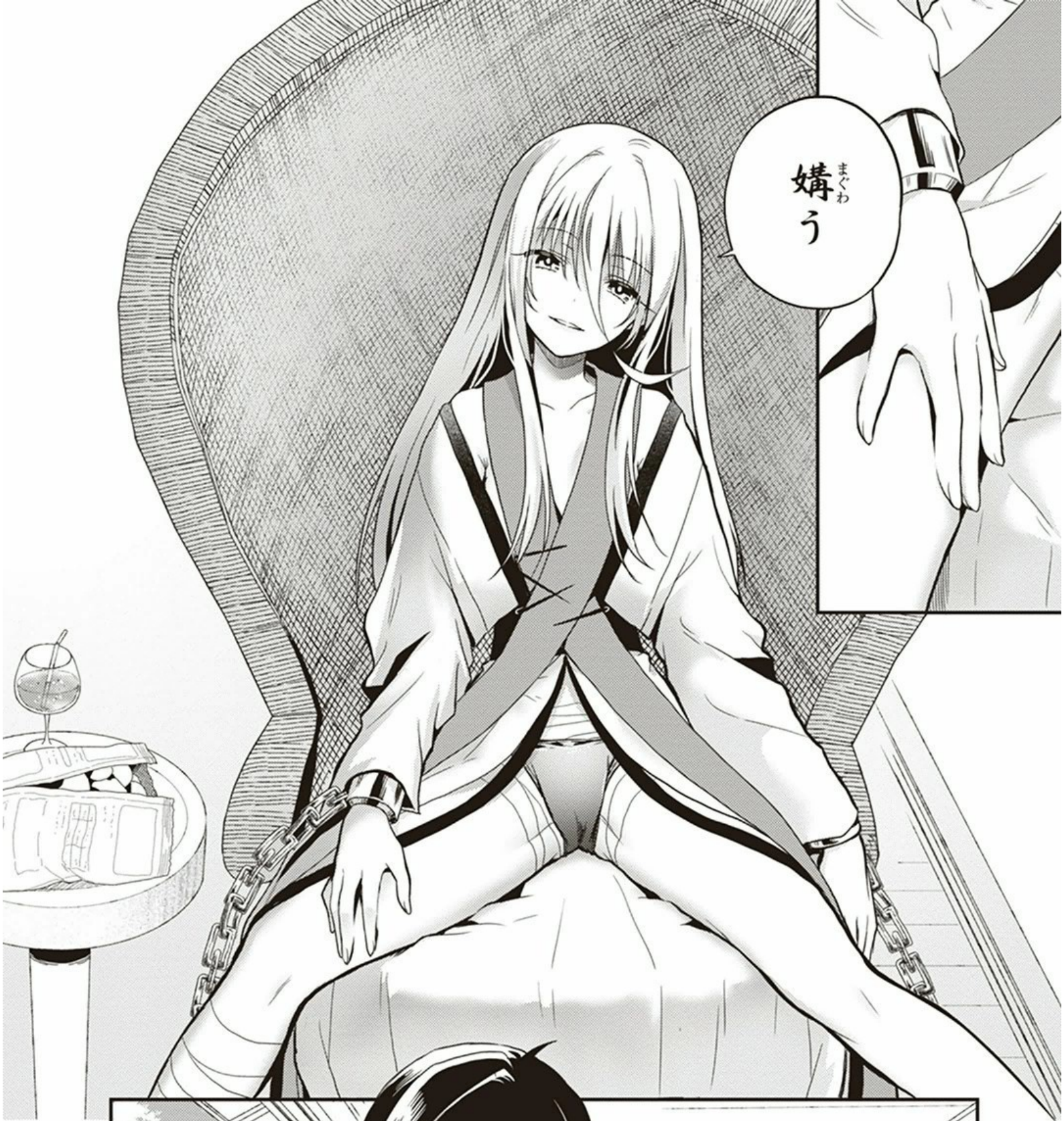
歌<sup>うた</sup>い踊<sup>おど</sup>り



そして



ちよほ



まぐわ  
媾う





いちだい  
一大えんたー  
ていんめんと  
じゃ



たけぞう  
竹蔵も  
い  
言っておったが  
わがし  
私が始めた



いちろうた  
一郎太が  
あそこから  
出てくるのは

その日だけ  
だったからの





いっしょにさんか  
一緒に参加すれば  
よかるう？



—ダメだ

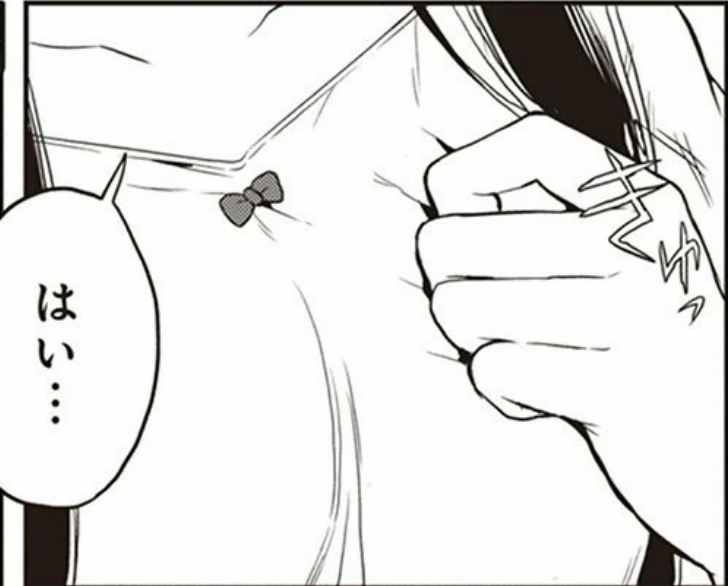


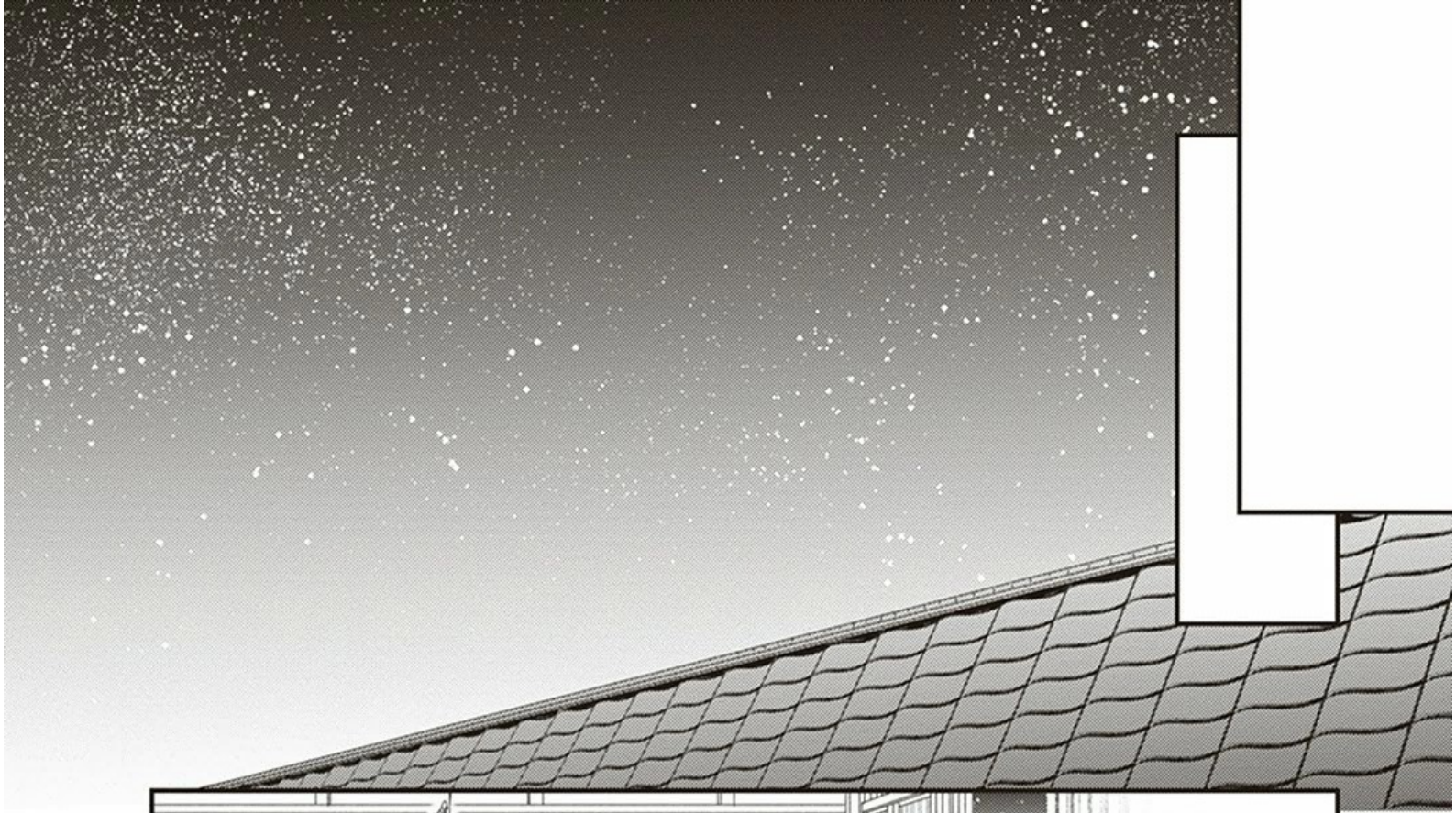
とうみん  
島民との  
よけい  
余計な接触は  
みと  
認めない



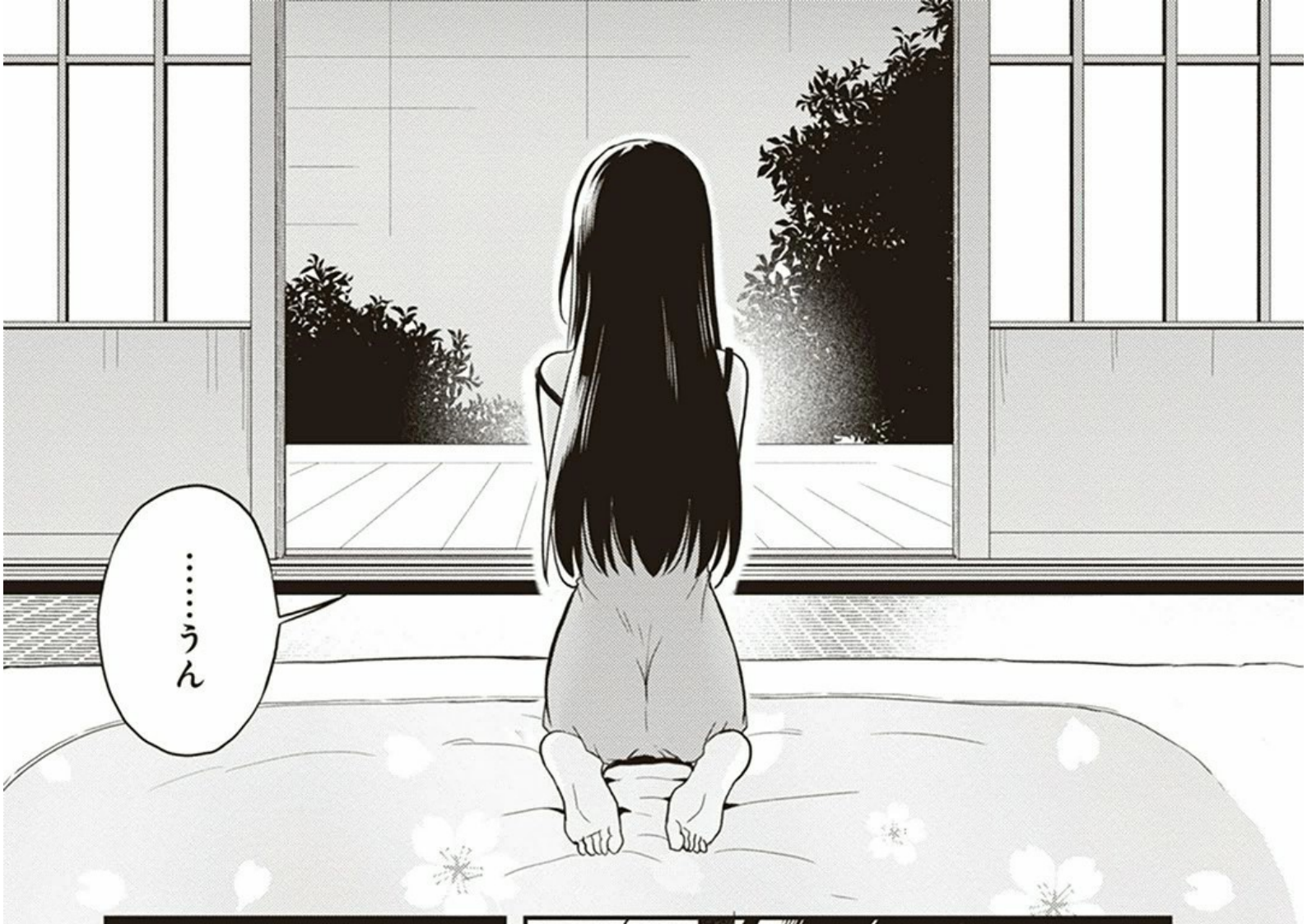
おれ  
俺も  
さんか  
参加  
しない  
から

もちろん



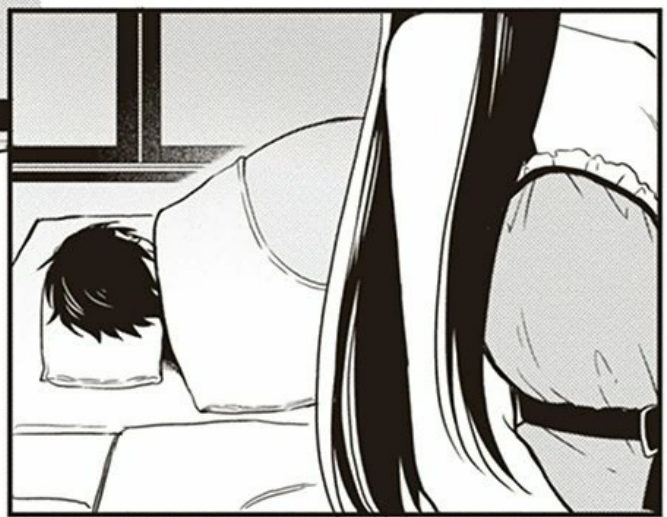


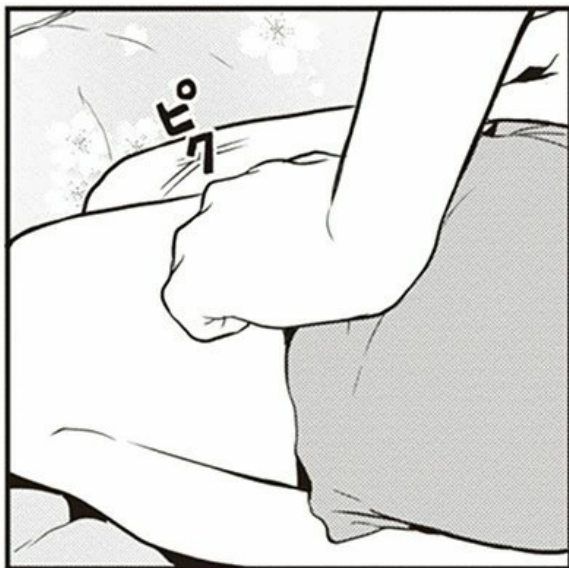
消すぞ



……  
うん

カキ  
カキ  
カキ







…何<sup>なん</sup>でもないので

寝<sup>ね</sup>て  
気<sup>き</sup>にしないで



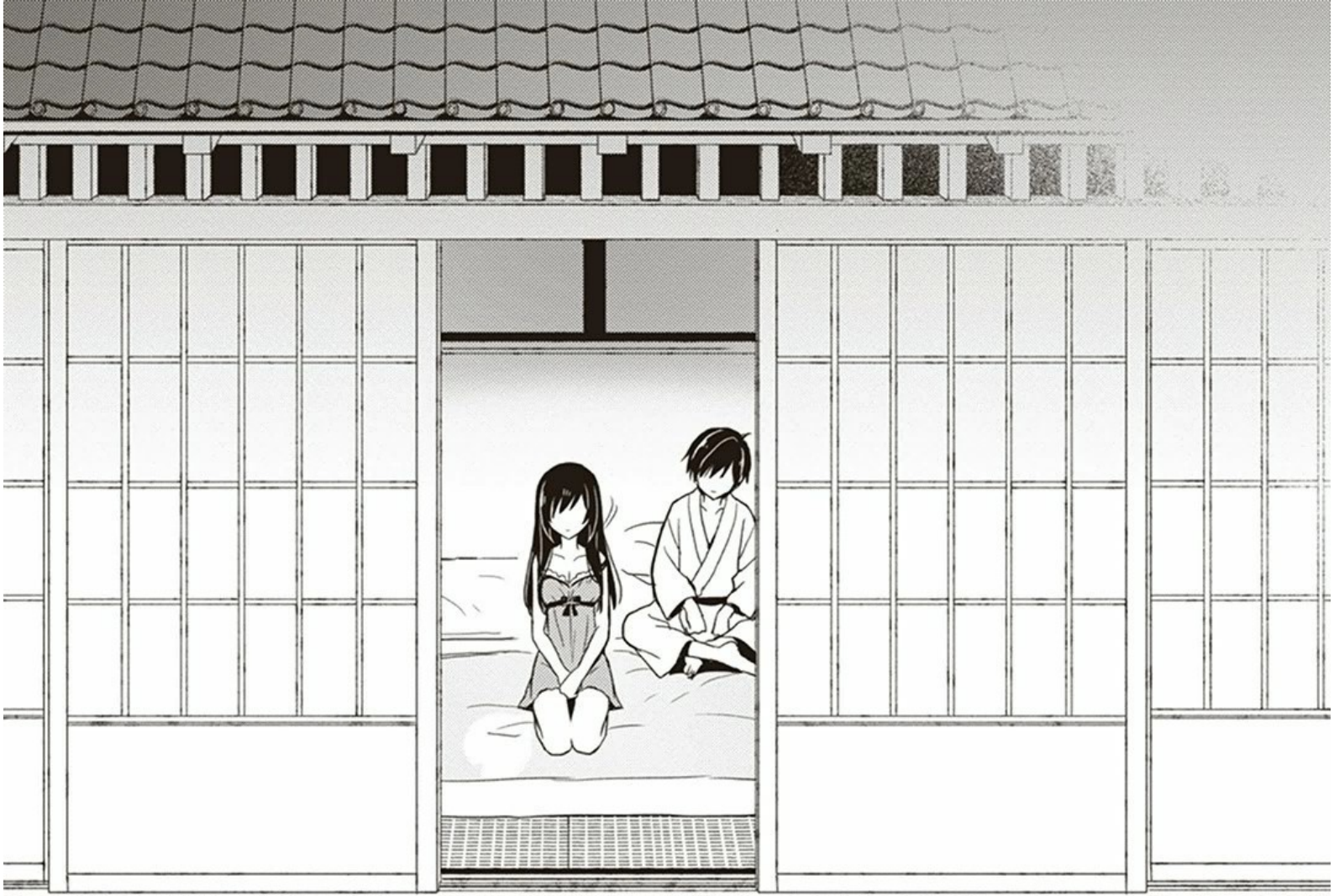
…さ  
や

—話<sup>はな</sup>して  
ほしい



はな  
話せ

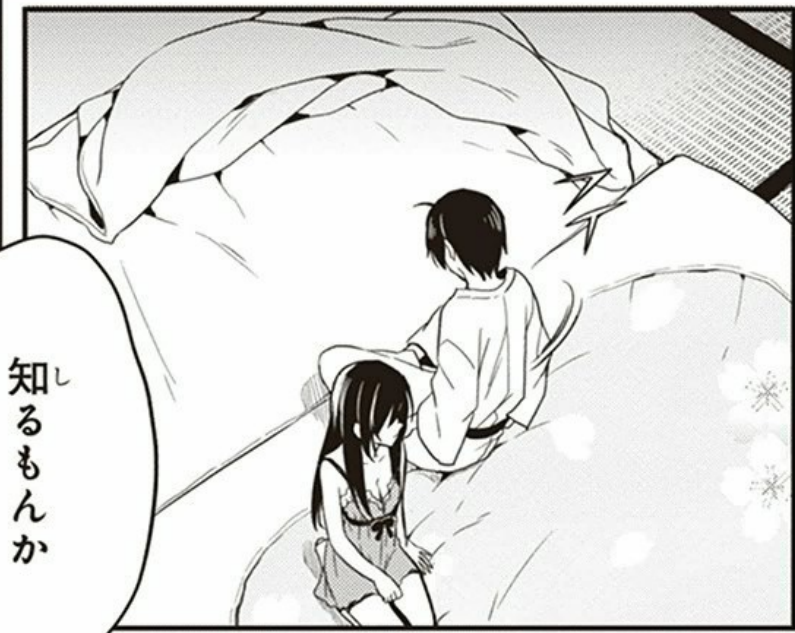
めい  
れい  
命令だ



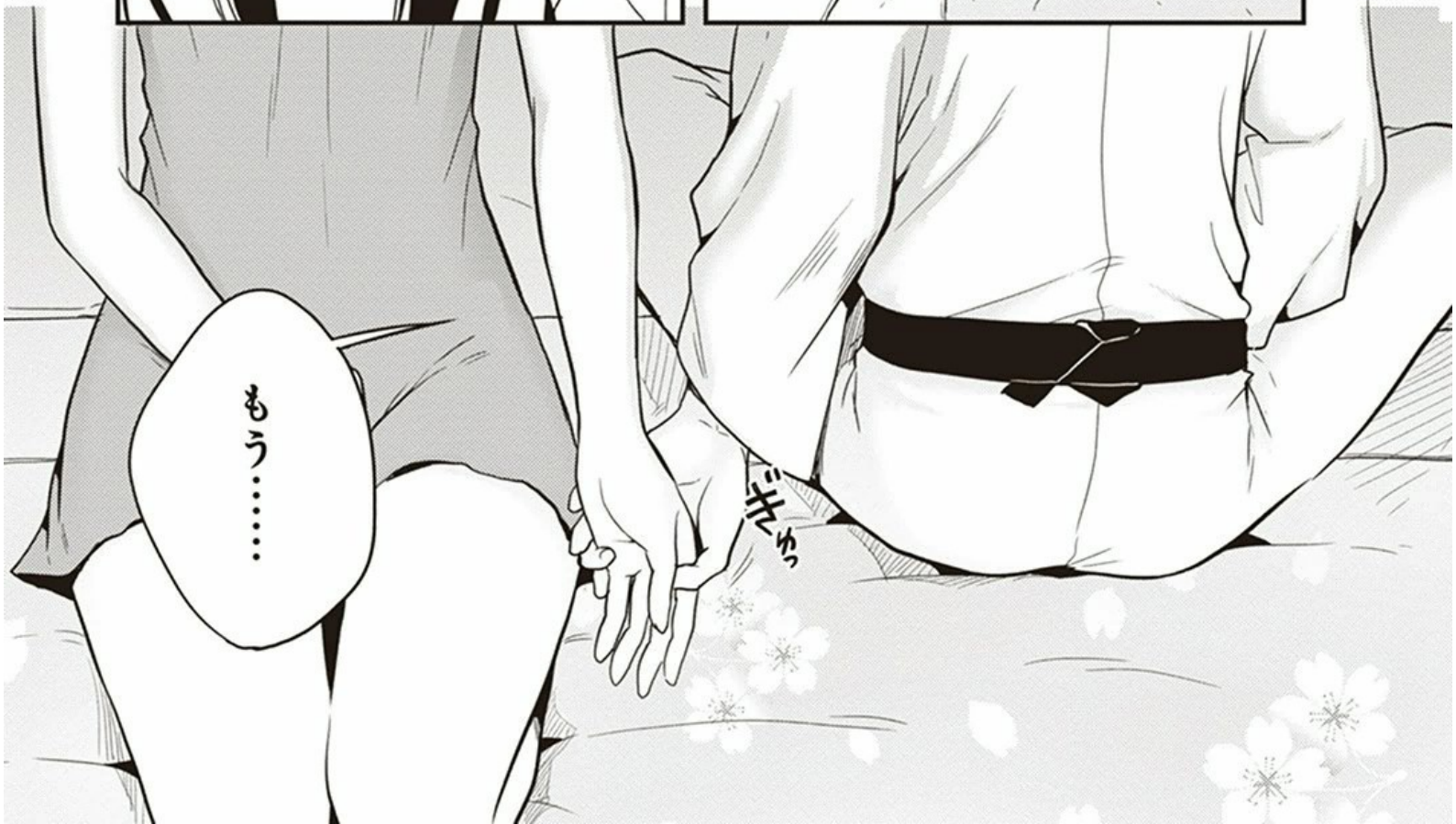
ひどいことを  
されていると  
おも  
思うけど

…幸せしあわせに感かんじる  
気持きもちちもあるの






知るもんか



も...  
...  
...

ニギハヤ



もう絶対に  
裏切らないでくれ



.....  
うん

五巻に続く...

この島には

淫らで

邪悪な

モノが棲む

# 次巻予告

熱を帯びる  
淫らな行いと、  
少女の柔肌。



すでに神通が  
開いている旦那様は  
通行手形を  
持っているも同然

呪いの樹と  
我らの魂は  
繋がっている

我ら伊喜島の者が  
構うのは単に  
娯楽のためだけ  
ではない

て手を  
動かすなっ



旦那様も  
脱げ



ズッ



気をやれ

さあ

増幅する**快樂の先**——  
“**絶頂**”のさらにその先で



青年を  
待ち受ける  
のは……？



この島には淫らで  
邪悪なモノが棲む  
第**5**巻 2016年夏頃発売予定

4

原 っ も

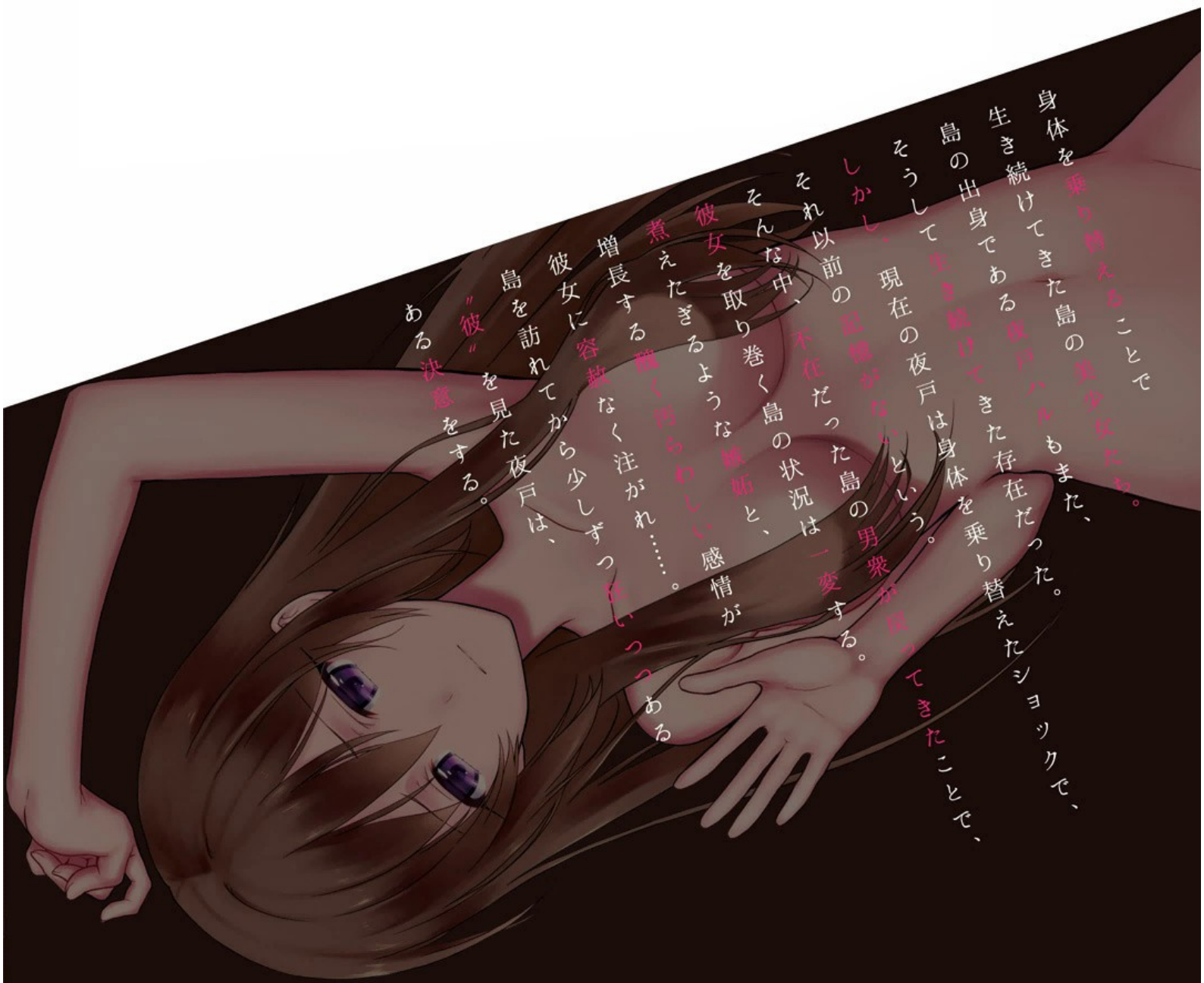


邪悪な淫五つで

この島には

モロノカが棲む





身体を乗り替えることで  
生き続けてきた島の美少女は、  
島の出身である夜戸ハルもまた、  
そうして生き続けてきた存在だった。  
しかし、現在の夜戸は身体を乗り替えたショックで、  
それ以前の記憶がなくなっている。  
そんな中、不在だった島の男衆が一変する。  
彼女を取り巻く島は、  
煮えたぎるような嫉妬と、  
増長する醜く汚らしい感情が  
彼女に容赦なく注がれ……。  
ある決意をする。  
島を訪れてから少しずつ  
「彼」を見た夜戸は、

本書（電子版）に掲載されているコンテンツ（ソフトウェア／プログラム／データ／情報を含む）の著作権およびその他の権利は、すべて株式会社 KADOKAWA および正当な権利を有する第三者に帰属しています。

法律の定めがある場合または権利者の明示的な承諾がある場合を除き、これらのコンテンツを複製・転載、改変・編集、翻案・翻訳、放送・出版、公衆送信（送信可能化を含む）・再配信、販売・頒布、貸与等に使用することはできません。



---

## この島には淫らで邪悪なモノが棲む④

2015年12月19日 発行

著者 原つもい

発行者 塚田正晃  
発行 株式会社 KADOKAWA  
〒102-8177 東京都千代田区富士見 2-13-3  
03-3238-8745 (営業)  
<http://www.kadokawa.co.jp/>

プロデュース アスキー・メディアワークス  
〒102-8584 東京都千代田区富士見 1-8-19  
03-5216-8398 (編集)  
<http://asciimw.jp/>

©2015 TSUMOI HARA

---

※2015年12月19日発行の電撃コミックス「この島には淫らで邪悪なモノが棲む④」初版に基づき制作